

第五十六回
帝國議會
貴族院

肥料管理法案外三件特別委員會會議事速記録第五號

昭和四年三月二十四日(日曜日)午前十一時十五分開會

○委員長(子爵渡邊千冬君) 委員會ヲ開會
イタシマス

○男爵松岡均平君 私ハ希望ヲ一ツ申述べ
タイト思ヒマス、ソレハ肥料管理ニ關係シ
タコトデアリマシテ、實ハ此間、一昨日デ
シタカ、大河内委員カラノ御話ガアリマシ
テ、ソレデ初メテ注意ヲ起シタノデアリマ
スルガ、即チ「ハーバー」式ノ特許ノ問題デ
アルノデアリマス、ソレハ衆議院ニ於テモ
肥料委員會ニ於テ確カ附帶決議ニナッタヤ
ウニ承ッテ居ル、即チ「ハーバー」式ノ特許
權ノ問題デアリマスガ、之ニ付テ初メテ承
知イタシマシテ調べテ見マスルト云フト、
是ハ誠ニ困ッタ問題デアルト思フノデアリ
マス、私ノ希望竝ニ他ノ委員諸君ノ御希望
ガアルナラバ、決議ト申ス形デモ宜シ、或
ハ委員會ノ多數ノ希望ト云フコトデモ宜シ
イノデアリマスガ、當局ニ申上ゲテ置キタ
イト思フノデアリマス、即チ東洋窒素工業
株式會社ガ「ハーバー」式ノ特許權ヲ持ッテ
居ルト云フコトデアリマス、是ハ併シ其當
時ノ事情ヲ考ヘテ見マスト何人モ惡イトハ
私ハ言ヘナイト思フノデアリマス、政府モ

サウスルヨリ仕方ガナカクデアラウシ、又
其事業家モ技術上ノ問題デアリマスカラ急
ニ製造會社ヲ起スト云フコトモ、技術上ノ
各種ノ工風ノ關係ニ依ッテ未ダ實行ヲ見ナ
イコトデアラウト思ヒマスガ、此點ニ付テ
彼此レヤカマシク申スノデアリマセヌガ
又殊ニ其得タ收益ヲ二百四十八萬圓デシタ
カ、二百七八十萬圓デスカ、此收益ヲ配當
ヲシナイデ積立テテ居ルト云フノデモアリ
マスカラシテ、必シモ其德義ノ點ニ於テ私
ハ疑ヲ挿ムノデハナイノデアリマス、殊ニ
又昨今間ク所ニ依ルト其事業家ノ中デモ有
カ人々ハ、既ニ此前ヨリシテ、此金ヲ積
立金ヲ自分ノ懐口ニ入レズシテ、何カ有益
ナ方法ニ使ヒタイ、斯ウ云フ考ヲ持ッテ居ル
ト云フヤウナコトモ聞イタノデアリマスガ
ラ、決シテ德義ノ上ニ於テ彼レ申スノデ
ハアリマセヌ、併シ此肥料管理ノコトハ今
ノヤウニ問題トナッテ居ル際デアリマスガ
ラ、是ハ矢張り衆議院ニ於テ御希望ガアッ
タ如クニ、何カ適當ナ方法デ之ヲ肥料問題ニ
於テ有益ニ此金ヲ使ハセルヤウニ御配慮ヲ
シテ戴キタイト思フ、是ハ誠ニ宜イ機會デ
アラウト思フノデアリマス、デ此正當ナル
要求ガ衆議院ニ於テモアリマシタノデ、ソ

レヲ當院ニ於テ全ク此點ニ言及シナイト云
フコトモ如何カト思ッテ居リマス、我々ハ矢
張り衆議院ト同ジヤウニ、同ジ熱心サヲ以
テ矢張り此問題ヲサウ云フ風ニ御取計ラヒ
ヲ願ヒタイト云フコトヲ當局ニ希望スル次
第デアリマス、然ラバドウ云フ風ニ之ヲ使
フコト云フコトハ、幸ヒ此委員會ニ於テ大
河内委員モ御出デニナリマスカラ、何カ理
化學研究所ノ方ナリ、或ハ如何ナル方法デ
モ宜シイガ、政府ガ其道ノ權威者ト委員會
ヲ御作リニナルナリ、或ハソレ程大仰デナ
クテモ宜イノデスカ、御相談ニナッテ、サウシ
テ最モ肥料改善ト云フコトニ付テ有益ナル
方法ニ此金ヲ使フヤウニ事業家ト御相談ニ
ナリタイ、此希望ヲ申上ゲテ、尙ホ之ニ付
テ大河内委員カラモ御意見デモ承レバ結構
ト思フノデアリマス

○委員長(子爵渡邊千冬君) 松岡君ニ申上
マスガ、ソレハ御質問デナイヤウデスカ、
後廻シニシテハ如何デスカ

○男爵松岡均平君 希望ト今私ハ申上ゲタ
ノデアリマス

○委員長(子爵渡邊千冬君) 御質問ノ場合
ニ御希望ヲ御述べニナリマスヨリハ、討論
ノ場合トカ、採決ノ場合ニ御述べニナッ

ラ……

○男爵松岡均平君 ソレハ何レデモ宜シウ
ゴザイマス、其御取計ハ委員長ノ御考ヘ次
第デアリマス

○委員長(子爵渡邊千冬君) 御止メ申ス譯
デモアリマヌカラ左様……

○子爵大河内正敏君 私ハ其問題ニ付テ商
工省ノ方ニ一ツ質問シタイト思ヒマス、農
林省ノ方デモ宜シウゴザイマスガ、今松岡
男爵ガ御述べニナリマシタヤウニ、此費用
ヲ何處ニ使フコト云フコトハドウナルカ分
リマセヌガ、今私ノ關係シテ居ル理化學研
究所云々ノコトガアリマシタガ、私ノ方デ
ハ現在窒素肥料ノ研究ヲヤッテ居リマセヌ、
先日チヨット松岡男爵カラ御話ガアリマシ
タ時分ニ、ソレハ當然商工省ノ高壓化學研
究所ニ寄附スルカ、或ハ研究委託スルコト
ニシタラ宜カラウト申シタノデアリマスガ、
ソレニ付テ商工省當局ニ於テ、一體肥料問題
ニ對シテドウ云フ御考ヲ有ッテ居ラレルカ
ト云フコトヲ私ハ聞キタイトデアリマス、
ト云フノハ商工省ハ戰爭中大正五年頃デア
リマシタカ、六年デアリマシタカ、臨時窒
素研究所ト云フモノヲ立テマシテ、今日マ
デ肥料ノ窒素ノ研究、肥料ノ研究デアリマ

ス、肥料ノ研究ヲヤツテ來タノデアリマシテ、相當ノ改良ガ出來タ「ハーバー」法ヨリモ良イモノガ出來タト云フテ研究所ヲ閉鎖シテ、サウシテ高壓化學研究所ト云フモノニ變ヘタノデアリマス、閉鎖シタ以上ハドウシテモ仕事ヲ何等カノ形ニ於テ實現サセナケレバナラヌ責任ヲ私ハ商工省ガ有テ居ルト思フノデアリマス、處ガ此肥料問題ガヤカマシクナツテ肥料管理ノヤウナモノガ出來ルニ係ハラズ、如何ニモ商工省ノ當局トシテ肥料問題ニ不熱心デアル、例ヘバ今問題ニナツテ居リマス、「ハーバー」法ノ如キモノモ、是ガ民間ノ所謂東洋窒素工業所デアリマス、工業株式會社デアリマスカ、一万圓デ特許權ヲ拂下ゲタ、一万圓デ拂下ゲテシマツテ、實施サセル積リデ拂下ゲタノデアリマスガ、今日ハ實施シナイ、而シテ獨逸カラ特許料タケ取ツテ居ル、ソレヲ默シテ商工省ガ見テ居ルト云フコトハ私ハナイト思フ、是ハ一體商工省ハドウ云フ御考デアルカ、一體政府トシテドウ云フ御考デアルカ伺ヒタイ

○委員長(子爵渡邊千冬君) 大河内子爵ニ申上デマスガ、今商工省ノ政府委員ガ見エテ居リマセヌシ、農林省ノ方カラ商工省ノ政府委員ニ御申傳ヘテ午後御答辯ヲ申上デテ差支ナイデゴザイマセウカ

○子爵大河内正敏君 結構デアリマス

○委員長(子爵渡邊千冬君) 大河内子爵ハ才濟ミニナリマシタカ

○子爵大河内正敏君 商工省ノ政府委員ガ出ラレテカラ私ハ尙ホ質問シタイと思ヒマス

○加藤政之助君 今ノ問題ニ付テチヨット……此肥料管理法ヲ立テラレルニ付テ、商工省ノ方面デ大分異議ト云フカ、何ト云テ宜シイカ、反對ト云テ宜シイカ、ソレヲ緩和スベク此案ヲ出スニ付テ大分暇取ツタト云フコトヲ聞イテ居リマスガ、其點ガドウ云フモノデアツタカト云フコトヲ農林大臣カラ承ハルコトガ出來レバ私ノ參考ニナルト思フノデスガ、其點ヲ御話下サルコトガ出來マセヌカ

○國務大臣(山本悌二郎君) 政府部内ノ交渉デゴザイマスカラ、色ミノ話ガアリマシタ、大體ニ於キマシテハ商工省ガ商人ノ方ニ餘リ其不利益ヲ、管理ニ於テ來タサナイヤウニシタイ、其點ニ付テ交渉ヲ重ネテ居タ次第デアリマス、詳シイコトヲ此處デ申上ゲルコトハチヨット遠慮シタイと思ヒマス

○加藤政之助君 ソレハ三箇條トカアルト云フコトデアリマスガ、商工省ハ此案ニ付テ將來ノ爲ニ斯ウシタラ宜カラウト云フ考ヘデアルナラバ、ソレヲ御話下スデモ一向差支ナイカト思ヒマスガ、イケマセヌカ

○國務大臣(山本悌二郎君) 商工省ノ意見ハ大概取入レテ此案ガ出來テ居リマス

○加藤政之助君 チヨット御話出來ヌデスカ

○國務大臣(山本悌二郎君) 細カナコトハ困リマスナ

○山田惠一君 私ハ委員長ニ御尋ネシマスガ、昨日ハ正午マデ午後ノ委員會ハ御止メニナリマシタガ、本日ハ如何ナサル御考デアリマスガ、此米穀法モマダ御尋ネニナル方モアリマス、又自作農創設案ニ付テモ御質問ガアルドラウト思ヒマス、本日ハ如何ナサル御考デアルカ

○委員長(子爵渡邊千冬君) 本日ハ實ハ午後カラ開クヤウニ昨日散會ノ時ニハ委員諸君ニ申上ゲテ置キマシタノデスガ、所ガ午後カラハ色ミ差支アリハシナイカト云フコトヲ虞レマシタノデ豫算委員會モ開カレサウデアリマシタシ、又本會議ニ於キマシテモ區制案等ガ上程サレマス云フト、向フノ方ニ御出席ニナル方モアルドラウト思ヒマス、又本日ハ宗教團體法モ午後カラアリマスノデ、ソレデ初メテ午前ニ色ミナ委員會、又ハ本會等ガアリハシナイカト思フテ午後ト申上ゲタノデスガ、段々考ヘテ見マスト云フト午後開カレナイコトガアツテハ、本日終日此委員會ヲ開クコトガ出來マセヌカラ俄ニ改メマシテ、ソレデ十一時カラ開ク

コトニ致シタノデアリマス、本日ノ午後ノ問題デアリマスガ、成ルベク私ト致シマシテハ開キタイと思フデ考ヘテ居リマス、是ハ實ハ此委員會ガ濟ンデカラ御相談イタシテ見タイと思フテ居リマシタノデスガ、何カ御名案デモアリマスナラバ、此際承ハツテ參考ニ致シテ決メタイと思ヒマス

○山田惠一君 私共別ニ名案モアリマセヌノデアリマスガ、此案モ大分闊ヘテ居リマスノニ、又昨日ノ如ク午後御休ミニナリマスト云フコトハ遺憾ニ存ジマス、若シ御休ミニナルナラバ副委員長モオ出デニナルカラ、此委員會ヲ開キタイ、斯ウ云フ考ヲ實ハ申上ゲタノデアリマス

○委員長(子爵渡邊千冬君) 私一人ノ都合バカリ考ヘテ委員會ヲ開イテ居ルノデハナイト云フコトヲ申上ゲテ置キマス、委員全體ノコトヲ考ヘテ居ルノデスカラ誤解ノナイヤウニ願ヒマス

○山田惠一君 然ルベク御取計ヲ願ヒマス、別ニ名案ヲ有テ居リマセヌ

○湯地幸平君 今通告ハ誰レト誰レデスカ

○委員長(子爵渡邊千冬君) 通告ハ大河内子爵カラ今午後ノ通告ガアリマス、ソレカラ委員外ノ方ノ通告ガアリマス

○湯地幸平君 先刻ノ大河内子爵ノ質問ハ通告ナンデスカ

○委員長(子爵渡邊千冬君) 私ハ通告ト見

テ居リマス、午後商工省ノ答辯ガアレバソ
レニ付テ質問ヲ致スト云フ……

○湯地幸平君 其質問ヲサレル前ニ通告ハ
アツタノデスカ、臨時ニ通告シテ臨時ニ御許
シニナッテ差支ナイノデスカ

○委員長(子爵渡邊千冬君) ソレハドウ云
フ御趣意デアリマスカ

○湯地幸平君 私ハ先刻自作農ニ付テ質問
シタイト云フトラ、既ニ通告ガアルト云フ
コトデアッタ、通告ガアルト云フコトデアッ

タカラ御遠慮申シテ自作農ノ質問ヲヤラナ
イデ置イタ、所ガ只今大河内君カラ別ニ質
問ガアリマシタガ、ソレヲ御許可ニナリマ
シタ

○委員長(子爵渡邊千冬君) 御發言ヲ御求
メニナリマシタカラ……

○湯地幸平君 今日ハ自作農ノ方ハヤラヌ
カラト云フ委員長ノ御話デアリマシタ、自
作農デモ御許シニナリマスカ、私ハ自作農
ニ付テ質問ノ御許シヲ願ヒタイト思ヒマス

○委員長(子爵渡邊千冬君) 自作農ニ付テ
ハ委員長ハ御止メ申ス譯デアリマセヌガ

只今加藤君ガ御質問中デアリマシタガ、山
田君カラ議事進行ニ關スルヤウナ御答辯、
發言ガアリマシタノデソレヲ伺ッタノデス

ソレデ若シ外ニ今ノ問題ニ關聯シテ御質問
ガナケレバ、何ノ御質問ガアツテモ差支ナ
イノデアリマスカ、今ノ問題ニ關聯シテ御

質問ハアリマセヌカ

○加藤政之助君 自作農ニ付テハ私ハ前カ
ラ御通告ヲ申上ゲテ置イタノデアリマス、
ソレハ御承知置キヲ願ヒタイ

○委員長(子爵渡邊千冬君) 湯地君ニ申上
ゲマスガ、今日晝前ハ成ルベク自作農ヲ止
メテデス、外ノ御質問ヲナサツタテ如何デセ
ウ

○湯地幸平君 先刻大河内君ノハ肥料管理
ニハ多少ノ關係ガアルケレドモ、原案ニ關
係ノナイコトヲ御許シニナッテ居ル、肥料管
理トカ、自作農トカ、米穀法トカ云フコト
ハ是ハ問題ニナッテ居ルノデ、是ハドレデモ
御許シニナラナケレバナラヌ

○子爵大河内正敏君 此委員會開會ノ劈頭
ニ當ッテ關聯シタ質問ハ通告ガアツテモヤ
テ宜シイ、斯ウ云フコトヲ諸君ガ御認メニ
ナッテ居タ、今松岡男爵カラ御質問ガアリ
マシテ、殊ニ私ノ意見モアルガラウト云フ
コトヲ言ハレタ爲ニ私ハ質問シタノデアリ
マシテ、松岡男爵ノ發言ニ關聯シテ私ハ質
問シタノデアリマス

○湯地幸平君 私ハ自作農ニ付テ質問イタ
シマス

○委員長(子爵渡邊千冬君) 湯地君ニ申上
ゲマスガ、自作農ニ付テハ加藤君カラ御通
告ガアリマシタ

○湯地幸平君 其後デ宜シイ

○委員長(子爵渡邊千冬君) ソレカラ自作
農ニ付テハ委員外カラモ發言ノ希望ガアリ
マスカラ、委員會ニ御諮リヲ致シマシテ御
發言ノ順序ハ定メマス

○男爵松岡均平君 委員長ニ伺ヒマスガ、
ドノ問題ニ付テ質問ニスルト云フコトヲ豫
メ申上ゲナケレバナラヌデスカ、私ノ諒解ス
ル所ニ依レバ、ドノ問題デモ構ハヌト云フ
ヤウニ最初ニ申合セガアツタヤウニ思ヒマ
スカ……

○委員長(子爵渡邊千冬君) 今マデハドノ
問題ニ付テト限ラズニ質問ヲ許スコトニ致
シテ居リマシタ

○男爵松岡均平君 只今モ矢張りサウ云フ
風ニ諒解シテ宜シウゴザイマスカ

○委員長(子爵渡邊千冬君) 宜シウゴザイ
マスカ

○男爵松岡均平君 私ハ各種ノ質問ガゴザ
イマスケレドモ、豫メ何ノ問題ニ付テ申ス
ト云フ通告ハ致シマセヌガ、適當ナ機會ガ
アツタラ私モ御許シヲ願ヒタイト思ヒマス

○委員長(子爵渡邊千冬君) 御通告ニナル
ノデスカ

○男爵松岡均平君 サウデス

○委員長(子爵渡邊千冬君) ソレデハ加藤
君ノ通告ノ次ガ湯地君、其次ガ松岡君ト云
フ風ニ致シテ置キマス、唯商工省ノ答辯ニ
付テ大河内子爵ノ御質問ガアルカモ知レマ

セヌガ、ソレハ先ニ願ッたら如何カと思ヒマ
スカ如何デセウカ……ソレデハサウ云フコ
トニ致シマス、ソレデハ外ニ御質問ガナケ
レバ加藤君ニ御質問ヲ願ヒマス

○加藤政之助君 上山君ノ昨日ノ引續キガ
殘ッテ居ルヤウデスカ、ソレハ如何デスカ

○委員長(子爵渡邊千冬君) 諸君ニ於テ御
異議ガナケレバ此際上山君ニ御發言ヲ願ヒ
タイト思ヒマス

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○湯地幸平君 上山君ノハ是ハ引續キデス
カラ已ヲ得マセヌデセウガ、委員外ノ質問
モ必要デアリマセウケレドモ、委員ノ質問
ガマダ終ッテ居リマセヌカラ、其委員ノ質問
ガ萬遍ナク終ッテカラ委員外ノ質問ヲ御許
シ下サルコトヲ希望イタシマス

○委員長(子爵渡邊千冬君) ソレハ其時ニ
委員會ニ御諮リヲ致シマス、上山君、御發
言ヲ願ヒマス

○上山滿之進君 會期切迫ノ場合ニ委員外
ノ私ニ度々貴重ナ時間ヲ御割キ下サツタコ
トニ對シテ相濟マヌ氣ガ致シマスシ、同時
ニ感謝ノ意ヲ表シマス、私ハスキ好シデ委
員外カラ態、飛出シタ譯デハナイノデス、

私ハ何ダカ反對シテ居ルト云フノデ、院ノ内
外デ色々評判ガアルサウデアリマスガ、甚
ダ自分一個トシテ不本意ニ思ヒマスガ、何
分重大ナ問題デアルシ又多少自分ガ會テ研

究シテ居タ問題デアリマスノデ、ドウモ議員ノ職責上知テ言ハザルト云フコトハ不忠デアルト云フ風ニ私ハ信ジマス、毀譽褒貶ヲ度外ニ置イテ發言ヲスル次第デアリマス、セメテ御出席ノ政府當局又委員會ノ諸君ニ於テハ私ノ心事ヲ御諒解下サルコトヲ前以テ御願シテ置キマス、昨日農林大臣ニ御尋テ致マシタコトハ只一ツデアッタ、即チ此度七千万圓増額スル、其理由如何ト云フコトデアリマシタ、農林大臣ノ御答辯ハ、是ハ要スルニ今ノ米價ハ安イ、ソレハ具體的ニ説明ハ出來ヌガ、達觀的ニ安イト思フト云フ外ニナカッタヤウニ承ハリマシタ、ソレガ農林大臣ノ御説明ノ御趣旨デアッタと思ヒマスガ、其御説明ノ間ニ色々其御主張ヲ補足スルヤウナ意味デ種々御述べニナリマシタコトガアリマス、是ハ私深ク此項目ニ付テ進ンデ御尋テシヤウト考ヘマセヌガ、唯昨日私ノ質問ヲ致シマシタ趣旨ヲ擴充スル爲ニ其點ニ付テ少シ述べナケレバナラヌ、其一ツハ達觀的ニ米價ガ安イト思フ、一般物價ノ比較ニ於テモ安イト云フ風ニ仰セニナリマシタ、併シソレハ事實ト相違スルト思ヒマス、其數字ヲ申上ダマスト本年ノ二月中ノ東京物價調べ、ハ皆サン御承知ノ通り日本銀行ノ調査局デ作タモノデアリマス、コ、三十年來作テ居ル調査デアリマスガ、其二月中ノ物價ノ指數ノ總平均

ガ二百二十六餘リ、此指數ハ御承知ノ通り西曆千九百年即チ明治三十三年ニナリマスカ、三十年以前ノ物價ヲ百ト見テ本年二月ノ指數ヲ示シタ、ソレガ二百二十六ナル、總平均ガサウシテ米ハドウナッテ居ルカト云フト是ヨリ高イ、二百四十二ナッテ居ル、此表ノ中ニ今日ノ物價ト大正三年七月、即チ歐洲大戰前ノ是ト比較シテ指數ガ別ニ擧テ居リマス、是ハ總平均シカ擧テ居リマセヌ、其總平均ノ指數ヲ見マスト大正三年七月ヲ百トスレバ昭和四年二月ハ百七十九・八八ト云フコトニナル、即チ百八ト云フモノニナッテ居ル、ソレカラ昭和二年四月ノ米價ヲ算出シテ見マスト、是ハ今計シク出來テ居リマセヌガ、是ヨリモ高クナッテ居ルヤウニ思ハレマス、是ハ今極ク詳シイ調査ハ只今持テ居リマセヌノデ、ハッキリシタコトハ申上ダラレマセヌガ、大體ニ於テハ甚シキ差ガナイト云フコトガ物價調ノ示ス事實デアリマス、ソレカラ今一ツ農林省ノ御作リニナッタ、皆様ノ御手許ヘモ來テ居ルコトト思ヒマスガ、米價ノ趨勢一覽表ト云フ圖ガゴザイマスガ、是モ御覽ニナル通り最近ニ於テ甚シキ暴落ヲ來シテ居ルトハ申上ダラレナイノデアリマス、昨日私ノ質問イタシマシタノハ此際暴落モナシ、又物價ノ指數ノ總平均ニ較ベテモ米ガ必シモ安クナイ、サウスルトドウ云フ理由デ、

早速米ヲ買ハナケレバナラヌト云フコトニナリマスカト云フコトヲ御尋シタ關係カラ、只今ノ事實ヲ指摘シテ置キマス、ソレカラ尙ホ生産費ノコトニ付テ、是モ餘リ深入ハナサラナカッタノデアリマスケレドモ、言及サレマシタ、此事ニ付キマシテハ私ハ本會議ノ質問ノ際ニモ申上ダマシタカラ、皆様御聞キ下サタコトト思ヒマスガ、生産費ト云フモノハ非常ニ違フノデ、土地ニ依ッテ甚シキ相違ガアリマス、デ能ク此生産費ノ平均ヲ以テ、生産費ノ平均ガ斯ノ如クナル、所ガ米價ハ斯ノ如シデアアル、カルガ故ニト云フ結論ヲスル人ガヨクアル、可ナリ有名ナル團體ニ於テサウ云フ決議ヲシテ居ル、併シ是ハ大變根柢ヲ誤テ居ル、此間本會議デ服裝ノコトヲ申上ダマシタガ、徴兵検査ノ壯丁ノ身長ガ五尺三寸サラ三寸、日本人ノ身長ノ平均ハ五尺三寸デアアルカラ、日本人ニハ身長五尺三寸當リノ布ヲ與ヘレバ着物が出來ルト云フ結論ハ出テ來ヌノデ、横綱ハソレバカリ貴ヒマシテハ片方ノ腕ヲ掩フニ過ギナイ、一寸法師ハソレヲ貴ヒマスト三人前モ、五人前モ作ルコトガ出來ル、問題ハソレヲ生産シタ人ノ一人ニハ懷ロガドウト云フ問題デ、平均ガドウデアルト云フ問題ハ此場合ニ於テハ全然區別シテヤラナケレバナラヌト云フコトハ爭フベカラザ

ル事實デアアル、加フルニ生産費ノ調ト云フモノハ非常ニ困難デアリマス、是モ本會議デ申上ダマシタガ、前年私ガ農商務省ニ御厄介ニナッテ居リマス時、全國十數府縣二人ヲ派シテ、實地ニ付テ調べサシタノデアリマス、只今申上ダタノハ其結果デアリマス、中ニ困難ナ問題デアリマス、其後農林省ガサウ云フ風ニ實地ニ付テ御調べニナッタカドウカ、私ハマダ能ク聞キマセヌガ、御調ナサラナケレバ尙更ノコト、御調ニナッテモ、蓋シ大正四年ニ私共ガ調べタコト、此數字ハ違ヒマスケレドモ、何ト言ヒマスカ、形ニ於テ、重サニ於テハ蓋シ同一デアラウト思フ、サウ云フ風デアリマスカラ生産費ヲ基礎ニシテ云々ト云フコトハ今日ノ調査ノ程度デハ言ヘナイ、旁、今日七千万圓増加シナケレバナラヌト云フ理由ガ私ニ明カデカイ、私ハ委員外デアリマスカラ、議論ニ加ハル譯ニ參リマセヌシ、唯議員ノ一人トシテ、七千万圓ノ増加ノ理由ガ明カデナイト云フコトヲ理解シテ止メル外ニ途ガアリマセヌ、今日其點ニ付テ若シ何カ政府ノ方デ御辯明ガゴザイマスレバ承リマスケレドモ、サウデナケレバ只今私ノ昨日ノ質問ノ趣旨ヲ明ガニナル意味ニ於テ陳述イタシタ次第デアリマス、御尋イタシタコトハ、是モ本會議デ申述べマシタシ、昨日モチョット申述べマシタガ、從來ノ政府ノ米ノ扱方ガ

誠ニ宜シクナイト思ヒマス、過去ノコトハ
此場合、當面ノ問題ヲ議スル場合ニ、諸君ガ
議セラレル場合ニ敢テ深く這入リマセヌ
ガ、唯政府ニ伺ヒタイコトハ、此米ノ買換
ト云フモノハ出來秋、新石ノ出盛リ以後成
ルベク速カニ行ハナケレバナラヌモノデア
ルト私ハ信ズル、之ニ同様ナ御意見デアリ
マスカ如何デアリマス、過去ノ實績ハ歷
代ノ内閣ガサウヤッテ居リマセヌ、此内閣ニ
ナッテモ昨年十一月十二月ニオ買ヒニナッ
ヤウデアリマス、其前ニハ餘リ……今ノハ
間違ヒマシタ、一昨年デアリマス、今日ニ
於テ現ニマダ古米ガ先ヅ二百萬石バカリ貯
藏シテ居ラレル、即チ此内閣ニ於テモ新米
ト古米ト成ルベク早く引換ト云フコトヲナ
サテ居ラナイ、農林大臣ノ本會議ニ於ケル
説明デハ、ドウモ時機ガアル、斯ウ云フ御
話デアリマシタガ、ソレモ結構デアルト思
ヒマス、時機ト云フコトモ意味次第デハ結
構デアルト思ヒマス、私ハ特別ナ理由ノナ
イ限リ買替ハ新石ノ出廻ルト共ニ成ルベク
早くシナケレバナラヌモノト思フノデアリ
マス、此點ハ如何デアリマス

話デアリマシタガ、ソレニ付キマシテハ前
回申述べテ置キマシタ通り、政府デハ今日
ノ米價ハ必シモ適當ナ米價トハ思ヒマセヌ
ノデ、端的ニ申セバ幾ラカ安イ、斯ウ思フ
ト云フコトヲ申上ダテ置キマシタ、從テ是
レ以上デモ降ルト云フヤウナ何カアレバ調
節ヲシナケレバナラヌト云フ時期デアルマ
イガト云フコトガ一ツ、ソレカラ其出來秋
ニ當テ再ビ豐作デアッテ、更ニ調節買ヲシ
ナケレバナラヌト云フコトヲ假リニ豫想シ
テ見マス、其時ハ最早今日ノ儘デハドウ
モ斯ウモ動キガ付カナイト云フ狀態ニナル
ノデハナイカ、ソレデ米穀法ノ存在シテ居
ル限リハ、左様ナ場合ニ出動スルコトノ出
來ルヤウナ用意ガナケレバナラヌ、此意味
ニ於テ七千萬圓ノ増額ヲ要求シテ居ルト云
フコトヲ、大體申上ダタノデアリマス、ソ
レ御諒承ヲ願フヨリ仕方ガアリマセヌ
ガ、唯今日ノ米價ハ物價指數ノ上カラシテ
モ決シテ安クハナイ、外ノ物價ニ較ベテ寧
ロ高イト云フ數字デナイカト云フ今ノ御話
デシタガ、ソレハ少シ私共ノ方ノ考トハ違
フノデス、今ノ指數ノコトハ政府委員ニ申
上ダサセマスガ、大シタ開キモナイヤウニ
思ヒマスケレドモ、一般物價ニ對シテハ米
價ノ指數ト云フモノハ低イノデアリマス、
ソレカラ併シ私ハ前回ニモ申上ダタ通り、
必シモ物價指數ト米價指數トノ比較ニ依

テ、今買上ゲル時ダトカ、或ハ今調節スベ
キ時ダト云フコトヲ從來カラ決シテハ居ナ
イノデ、參考ニハ致シマスケレドモ、ソレ
ハ必シモ唯一ノ調節賣買ノ時ノ標準、唯一
ノ標準デハナイノデアリマス、是ハ重要テ
申上ダテ置キマス、殊ニ若シ他ノ物價ト云
フモノト米ノ價ノ比較ヲスルドレスレバ、物
價ノ比較モ無論必要デアリマセウケレド
モ、農家ノ此米ヲ生産スルニ必要ナル所ノ
物資ノ價ト云フモノガ、モット直接ニ參考ニ
シナケレバナラヌノデアアル、ソレガ即チ其
中ニ付テモ最も重キヲ占メルモノガ肥料デ
アル、肥料ノ價格ナドハ例ヘバ昨年ノ米ノ
平均價格ト、昨年ノ肥料ノ價格トヲ較ベテ
見マシテ、更ニ之ヲ現在ノ肥料ト米價ノ比
較ニ何シテ見マスレバ、肥料ハ大シテ昨年
ヨリハ下ッテ居ラス答デス、所ガ今日ノ米價
ハ昨年ヨリカ餘程下ッテ居リマス、斯ウ云フ
ヤウナ關係モアリマシテ、兎ニ角農家ト云
フモノハ今日ノ米價デハ非常ニ困難ニ陥
テ居ルト云フコトハ數字ヲ離レテ考ヘマシ
テモ、恐ラクハ尙人モ肯定セザルヲ得ナイ
ノデアラウト思ヒマスガ、此點ニ付キマ
シテハ此以上ハ見込違ヒトデモ申シマセウ
カニ過ぎナイデアラウト思ヒマスガ、比
較ハ申シマセヌ、ソレカラ其次ノ買換ヲス
ルノハ新米ノ出タ時ニ買換スルノガ適當デ
ハナイカ、從來ノ政府ハイツモ其時機ヲ誤

テ居ル、ソレハドウカト云フコトノ御尋ネ
デシタガ、此買換ハ必シモ古クカラ持テ居
ル米ヲ、ソレヲ其年ノ新米ガ出タナラバ、
ソレト直グニ買換ヲシナケレバナラヌトモ
考ヘテ居リマセヌ、ソレガ差支ヘナク此買
換ガ行ハレルヤウデアッタナラバ、古イ米ヲ
出來ル限リ早く新ラシイ米ト買換スルト云
フコトハ宜イト思ヒマスケレドモ、ソレハ
本會議ニ於テモ申上ダタ通り、此買換ト云
フコトガ動トモスレバ其時機ヲ誤リマスル
ト、折角安定シテ居ル所ノ市場ニ向ッテ波動
ヲ與ヘル虞レガアルノデス、是ハ餘程考ヘ
ナケレバナラヌ、例ヘバ一例ヲ申シマスル
トデス、米ヲ一面ニ於テ賣ッテ一面ニ於テ買
フ、サウシマスルコト云フト、其値段自體ニ
於テ農民ガ自分ノ持ッテ居ル新ラシイ、米ヲ
賣ッテ、其代リ古イ安イ拂下米ヲ買フト云フ
ヤウナコトガ盛ニ行ハレマスルト云フ
ト、サウスルト新ラシイ米ガ澤山ニ一時ニ
出テ來テ、サウシテ市場ヲ壓迫スル、例ヘ
バ百萬石ヲ買換スルト百萬石ノ古米ハ、農
民自分デ消費スル方ニ收マッデシマフカモ
知レマセヌ、其代リ自分ノ手持米ヲ百萬石
一時ニ出シテシマフ、是デ直グニ平靜ノ市
場ヲ攪亂スルト云フヤウナ事ガ起リ得ルノ
デシテ、是ハ單ニ一例デアリマスケレドモ、
サウ云フヤウナコトモヨク考慮シテ時機ヲ
選ミマセヌト云フト、必シモ古イ米ヲ直チ

ニ新ラシイ米が出テ來レバ之ヲ買換スルト云フ譯ニハ行カヌヤウニ思フノデシテ、ソコガ即チ政府トシテ其時機ヲ見ル必要ガアルヤウニ思フ

○委員外議員(上山滿之進君) 前半ノ御陳述ニ對シテ今深く述べラセヌガ、只一ツ事實ヲ指摘シテ置キマス、農林大臣ハ米價ノ高イカ安イカト云フコトヲ外ノ物價ト比較スル場合ニ於テハ、米ノ生産ニ最も必要ナル而シテ最も多額ノ費用ヲ要スル肥料ノ數字ヲ見ナケレバナラヌト云フコトヲ仰セニナリマシタガ、先刻申述べマシタ日本銀行ノ調査ニ依リマス、米ハ本年二月ニ二百四十二デアリマシテ、硫酸「アムモニア」ハ、百二十デアリマス、魚肥ガ百七十五デアリマス、此比率ヲ指摘シテ置キマス、ソレカラ次ノ御答辯ニ付キマシテハ、時機ヲ見ルト云フコトガ私ニ能ク吞ミ込メナイ、只今其一例トシテ御引キニナリマシテ、買換ヲシタ古米ノ方ガ農家ノ手ニ歸シテ、ソシテ農家ガ其代リ米ヲ今度市場ヘ出ス、ソレデ市場ニ出タ米ガ溢レルト云フコトヲ仰セニナリマスノデアリマスガ、ソレハ出ル方、農家ガ出ス方ダケヲ仰セニナル、此政府ガ買換ニ依ッテ政府ニ納メル米ハ何處カラ來ルノデアリマスガ、ソレガ外國カラデモ其米ガ來テ、ソシテ政府ノ出ス方ノ米ハ内地……農林大臣ノ言ハルル農家ノ手ニ歸ス

ルト云フコトナラ、其御論ガ立チマスケレドモ、政府ノ買換ニ依ッテ賣リ出ス米モ、買上ゲル米モ共ニ内地ノ市場カラスルノデアリマスカラ、其市場ノ分量ガ之ニ依ッテ太イニ動クト云フコトハアルベカラザルコトナシデス、私ハ之ヲ殊ニ御尋スル所以ハ今日七千万圓増加シナケレバナラヌヤウニナツタノハ、原因ハ何處ニアルカ、色モ原因ガアリマスケレドモ、其中ノ大イナル原因ハ從來政府ガ買換ヲ忠實ニ行ハナカッタ、ソシテ其米ヲ變質サセ或ハ蟲害其他デ減量サセテ、ソシテ結局賣ル場合ニハ非常ナ古イ米ヲ賣ルノデ、一石數十圓ノ損ヲシナケレバナラナカッタ、是ガ事實ナシタル、是ガ今日七千万圓ノ増額シナケレバナラナカッタ原因ノ主ナル所デアルト私ハ思フ、ソコデ此處ニ斯ノ如キ過去ニ於テ損失ヲシナイデ置イタナラバ、尙ホ數千万圓ノ餘裕ガアル筈デアリマス、サウ云フコトヲ將來繰返ヘサレテハドウモ仕様ガナイ、ソレデ長イ先ノコトハ調査會ヲ設ケルト仰セニナリマシタカラ、是ハソレデモ追窮イタシマセヌケレドモ、差當ッテノコトヲドウナサルカト云フコトヲ伺ヒタイ、モット具體的ニ申シマス、現ニ政府ノ御持チニナッテ居ル米ハ、大正十五年ノ米ガ四十万石、昭和二年一昨年ノ米ガ百五十万石、兩方デ百九十万石、二百万石足ラズアル、之ヲ何故買換ヲ

シナイデ寢セテ御置キニナルカ、私ハ之ヲ直チニ、モウ今日時期ガ遅レテ居ルト思ヒマスガ、直チニ之ヲ買換ヲスル、過去ノ如ク損失ヲ再ビセザルコトガ、米穀法ニ忠實ナル政府ノ遣方デナケレバナラヌト思フ、之ヲ急ニ買換ヲナサルカナサラヌカト云フコトガ、私ノ知ラムト欲スル主眼デアル、若シ米穀法ヲ維持シテ之ヲ見事ニ運用シタイト云フ誠意ガアレバ、折角政府ノ持ッテ居ル米ヲ傷マセナイヤウニスル、ソレデ此米穀資金ノ缺陷ヲ少ナクスル、之ニ依テ初メテ米穀法ハ本當ニ運用サルノデアアル、時ノ事情ト仰セニナル、其時ノ事情ト云フノガ甚ダ理解ニ苦シム、誠ニ申シニクウゴザリマスケレドモ、私ヲシテ露骨ニ言ハシムレバ買換ヲスルト云フト、農村ノ方デハ買換ヲ貰フ方ハ喜ビマスケレドモ、其代リニ賣ラレル方ハイヤガル、現ニ昨年ノ暮カラ一月ニカケテ、政府ガ買換ヲナサツタ、ソレデモ買換ヲ貰フ方ハ宜イケレドモ、賣ラレタ方ノ米ハ、大變市場ノ邪魔ヲシテ居ルト云フ人モ現ニアル、サウ云フ聲ニ壓迫サレテ、從來通りノヤリ口ヲ政府デナサルトナルト、幾ラ是ハ金ヲ増サレテモ結局駄目ナシデス、結局無駄ニ金ヲ使ハセルコトニナル、勿論私ハ農家ノ幸福ヲ祈リマス、併シ國民全般ノ幸福ヲ我ニハ祈ラナケレバナラナイ、國民全般ノ幸福ガ、農家ノ幸福ニナル

ノデ、是ハ二ツデハナイト思フ、往々ニシテ生産者ト、消費者ト區分シテ、サウシテ源氏ト平氏ガ對陣デモシテ居ルヤウニ考ヘル人ガアル、又サウ云フ態度ヲシテ居ル人モアル、是ハ驚クベキ根柢ノ間違デアル、何處マデモ相讓ッテ、仲良クシテ行クト云フコトデナケレバ、此問題ハ解決シナイ、是ハモウ米問題ニ對スル私ノ根本觀念デアアル、所ガ政府ノナサレ方ハ其時ドコカラカ起ッテ來ルヤカマシイ聲ニ屈服シテ、其道理ノ方ニ進ンデ居ナイ、過去ハサウデアアル、山本君ノ前デ私ハ申シタアリマセヌガ、現内閣ノナサツタノモ、程度ノ差ハアレ同様デアアル、是デハ七千万圓増シテモ何ニモナラヌト云フ風ニ私ハ思フノデアアリマスカラ、少クモ買換ヲ忠實ニ行ハレルカドウカ、行ハレル意思ガアルナラバ一昨年ノ米ト昨年ノ米ト二百万石近クノ米ガアルデアリマス、其二百万石、全部カ一部カ知リマセヌガ、兎ニ角ソレヲ出シテ、又ソレダケノ米ヲ買上ゲルト云フコトハ日本ニ於ケル米ノ分量ニ何ノ違ヒモナイノデアリマスカラ、ソレカラ言ヘバ是ハ米價ヲ上ゲルニモ下ルニモ、影響ガアル筈ハナイ、多少ノ此人氣ト云フモノデ、多少ノ響キハアリマセウケレドモ、ソレハ極ク僅カノコトデナケレバナラナイ、又過去ニ於テサウデアッタト思フ、ソレヲ何故シナイカト云フト、時期ヲ選ブト

云フコトハ表向ノ言葉デアッテ、實ハ中ミソ
コニムヅカシイ問題ガアルト思フノデアリ
マスガ、此態度ガ改マラナケレバ米穀法ノ
將來ハ暗闇デアル、國民生活ノ基礎ハ暗闇
デアル、是ガ私ノ所信ナンデアル、其點カ
ラ質問イタシマスカラ、其意味デ御答ヲ願
ヒタイ、ソレデ尙ホ附加ヘテ申シマスガ、
農林省ノ御調ニ依リマシテモ、過去ニ於テ
政府ガ米ヲ持ッテ居ッタ高ト云フモノハ、昭
和二年八月ニ内外米合セテ百三十万石、ソ
レカラ段々殖エテ居リマス、前ヲ申シマス
ト百万石ニ達シテ居ッタコトハ極メテ少イ、
極ク最近ニ激増イタシマシテ、今ハ二百四
十餘万石アル、此中デ外國米ハ極ク僅カデ
アリマス、内地米ダケ申上ゲマス、二百
四十餘万石ト云フ多額ナモノヲ擁シテオ出
デニナル、又今度御買上ニナルモノハ百万
石カ、百五十万石カ知リマセヌガ、政府ノ
所有米ガ殖エル一方デアル、サウシテ又之
ヲ賣出ス時期ハ是マデノヤリ口デハ中ミ來
ナイ、正當ニ買換ヲシナイカラ、米ハイタ
ム一方デアル、是ハ何億アッテモ足リッコハ
ナイ、私共ハ此現象ヲ非常ニ好マナイ、本
當ニ國民生活ヲ安定シヤウ、常平制度ノ本
當ノヤリ口ヲシヤウト云フナラバ、ドウシ
テモ斯ウ云フヤリ口デハイケナイ、何億デ
モ突込ムト云フコトハ是ハ到底許サナイ、
是ハ例ヘバ農家カラ言ヒマス、農家ダケ

利益ニナルカラ……良イ惡イハ別トシテ、
各、其立場ト云フコトモアリマスケレドモ、
結局ドコニ行クカト云フト矢張り農家ノ負
擔ニナッテ來ル、何ダカ蟬ガ自分ノ足ヲ食ッ
テ腹ヲ肥ヤスヤウナ姿ニナル、是ハ私ハ農
村ノ爲ニ非常憂ヘルノデアリマス、サウ云
フ意味デ只今質問イタシテ居リマスカラ、
ドウカ其御積リデ御答ヲ願ヒマス
○國務大臣(山本悌二郎君) 米價ト物價ノ
比較ノコトデスガ、ソレハ只今政府委員カ
ラ數字ヲ説明イタシマス、次ニ買換ヲ實行
スル氣分ガアルカドウカ、現在大變ニ政府
ハ米ヲ持ッテ居ルガ、之ヲ又古クサシテハイ
カヌデヤナイカ、大體ニ於テ他ニ支障ノナ
イ限リハ古イ米ハ出來ル限リ早ク新ラシイ
米ニ買換ヲシナケレバナラヌコトハ上山サ
ント私ハ全ク同感デアリマス、ソレ故ニ只
今政府ノ持ッテ居リマス米ニ付キマシテモ、
周圍ノ事情ヲ考慮イタシマシテ、ソレガ市
場ニ波動ヲ及ボス虞カナイト見マスル限リ
ハ、矢張り早ク之ヲ買換ヲ致シタイ、斯ウ
考ヘテ居リマス、是ハサウ申上ゲテ差支ヘ
ナイ、但シソレヲ現在持ッテ居ルモノヲ何時
然ラバ買換ヲスルカト云フガ如キコト
ハ、是ハ米穀委員會モアリマスノデ、ソレ
等ノ方ニ諮問ヲシテ適當ナ時期ニスルト申
上ゲルヨリ外ハ仕方ガアリマセヌ、大體ノ
御趣意ハ必要モナイノニ古イ米ヲ何時マデ

モ持ッテ居ッテ益、古クセシメル、サウシテ
賣ル時ニハ非常ニ安ク賣ラナケレバナラヌ
ト云フコトハ宜クナイ、此御趣意ハ政府モ
確カニ左様ニ考ヘテ居リマス
○上山滿之進君 モウ多クハ質問イタシマ
セヌガ、只今農林大臣ノ御答辯ニ、買換ヲ
スルニハ周圍ノ事情ヲ見ルト仰セニナル、
市場ニ波動ヲ及ボサナイ時ヲ見ルト仰セニ
ナル、私ノ見ル所デハ周圍ノ事情ト云フコ
トハ私ニハ分ラナイ、只今ノヤウナ表向キ
ニ言ヘナイヤウナ事情ハ私モアル様ニ思ヒ
マスケレドモ、其以外ニ堂々ト天下ニ向ッテ
言ヒ得ル事情ハ私ニハ分ラナイ、ソレカラ
米價ニ變動ヲ及ボサザル時期ト斯ウ仰セニ
ナリマスケレドモ、百万石ナラ百万石、右
カラ出シテ左ニ入レルナラバ市場ニ於ケ
ル米ノ分量ハハットモ動カナイ、政府カラ出
ス米ヲ相當ナ價格ヨリ無暗ニ安ク出セバ問
題デアリマスケレドモ、サウ云フコトヲ
爲サレル筈ハナイ、相當ナ價格デ出シテ其
同ジ分量ヲ買入レルト云フコトハ市場ニ影
響ヲ及ボサナイデハアリマセヌカ、先刻モ
申シマシタ通り、斯ウ云フコトガアルト、
何時デモ強氣ト弱氣トニ影響スル、是ハ勿
論デアル、ケレドモ其影響タルヤ其正體、本
物ガ百万石出シテ百万石入レルト云フコト
デアルシ、價格ハ時價デスルト云フコトニ
ナレバ、正體ガ確カデアリマスカラ、一時投

機者流ニチヨット濫用、利用サレルコトハナ
イトハ申シマセヌケレドモ、ソレハ極ク輕
微ナコトデアッテ、サウシテソレニ原因ス
ル變動モ數日ニシテ恢復スルモノデアリマ
ス、是ハ私少シ經驗ヲ持ッテ居リマスカラ、
サウ云フコトヲ斷言シテ憚ラナイ、サウスル
ト私ハ明日買換爲サツタラドウカト云フコ
トヲ申スノデハアリマセヌケレドモ、急イ
デ買換ヲ爲サルト云フコトガ米穀法ニ忠實
ナル所以デアル、之ヲ阻ム周圍ノ事情、米
價ノ變動ト云フモノハ私ニハ理解ガ出來マ
セヌト云フコトヲ申上ゲテ置キマス、ソレ
カラ米穀委員會ニ掛ケテ云々ト仰セニナ
ル、是ハ農林大臣ガ法律ヲヨク御承知ノナ
イコトハナイト思ヒマスガ、間違ッテ言ッ
ノデハナイカト思フ、誤解デアリマシテ買
換ニハ米穀委員會ニ掛ケル必要ハナイ
○國務大臣(山本悌二郎君) ソレハサウ
グッタカモ知レマセヌ、買換ノ時ニハ米穀
委員會ニ掛ケル必要ハナイ
○上山滿之進君 ソレデ私ノ申シタイノハ
過去ニ於テ買換ノ名ニ依ッテ買入ヲシタ、是
ハ米穀委員會ヘ掛ケルト、中ミムツカシイ、
ソコデ其買換ト云フ名前デ買入ヲシタ、買
換ト云フコトハ米穀委員會ヘカケナイデ、
政府ダケガ買換ト云フコトヲヤッテ、サウシ
テ買入ヲ先キニヤル、サウシテ代リ米ヲ賣
リ出ス時マデ決メテナイ、又ソレハ實行シ

ナカタコトモアル、サウ云フ驚クベキコトヲ政府當局ハヤッテ居ル、正シイ人間ニハ出來ナイ、山本君ノヤウナ正シイ人ニハ到底出來ナイコトデアリマスカラ、山本君ニナッテカラハ爲サッテ居ラヌヤウデアリマス、サウ云フ不都合ヲシテ置イテ金ヲ無暗ニ使ッテ置イテ、サウシテ無クナッテカラ又出セ、此位驚クベキコトハ私ハ世ノ中ニハナイト思フ、ドウシテモ買換ト云フモノハ忠實ニ一ツナサラスト……第一、一昨年ノ米ヲ四十六万石バカリ御持チニナッテ居ル、是ハ必ズ相應ニ損失ヲシテ居ル、相應ニ損害ヲ受ケテ居ルト思フ、此感想ヲ述べマシテ、私ハ質問ヲ終リマス

○國務大臣(山本悌二郎君) 只今ノ上山君ノ御意見ハ、前ニモ申上ダタ通り大體ニ於テ、他ニ支障ナキ限リハ買換ヲ速カニ行フト云フコトニ致サナケレバナラヌト當局モ考ヘテ居リマスカラ、十分ニ上山君ノ御意見ハ尊重イタシマシテ、此持米ニ對スル處分ヲ致ス積リデアリマス、尙ホ米價ト物價ノ指數ノコトニ付キマシテ、チヨット政府委員カラ説明イタサセマス

○政府委員(松村眞一郎君) 米價ト物價トノ關係ハハ數字ノ問題デゴザイマスカラ、私カラ申上ダテ置キマス、只今御引用ニナリマシタ物價指數ト申シマスノハ、日本銀行デ明治三十三年十月ニ、物價指數

ノ調査ヲ、初メテ出シマシタ時ヲ基礎ト致シマシテ、ソレヲ百トシテズット物價指數ヲ世間ニ發表イタシテ居ル、ソレハ唯漠然ト三十三年ノ十月ヲ基礎ニ致シテ居ルノデアリマスカラ、經濟上ナリ色々ノ立場カラ見マシテ、ソレガ果シテ基礎トシテ正確ナリヤ否ヤト云フコトガ隨分議論ガアル譯デアリマス、唯日本銀行ノ結果ハサウナッテ居ルト云フダケニ御諒解ヲ願フタ方ガ宜クハナイカト思フノデアリマス、ソレデ三十三年十月ト言ヘバ大變昔ノコトデアリマスガ、其十月ノ月ヲ百ニ致シマシテ、サウシテズット算出イタシテ居リマスノガ、上山サンノ仰シヤイマシタ通りデアリマス、併シソレヲ其趨勢カラズット達觀シテ參リマススト云フト、大體ニ於キマシテ近頃ハ米ガ物價ノ狀態ヨリモ割ガ惡イ傾向ヲ示シテ居ルト云フトコトニナッテ居ルノデアリマス、ソレハ今唯日本銀行ノ物價指數ダケニ依リマシテ申上ダテ見マススト云フト、昭和三年一月ノ米ノ物價指數ガ二百六十五ニナッテ居リマス、ソレカラ今年ノ一月ノ米ノ物價指數ハ是モヤハリ日本銀行ノデアリマスガ、二百三十九トナッテ居リマス、昨年ノ一月カラズット大體ノ趨勢ガ米ニ於テハ下ガル傾向ニズットナッテ居リマス、結局ハ昨年ノ一月ガ二百六十五デ今年ノ一月ガ二百三十九デアリマシテ、米ハ昨年ヨリモ下落ヲ迪ッテ居ル、斯

ウ云フコトニナッテ居リマス、ソレデ日本銀行ノ物價指數ニ依リマシテ、總平均ト云フモノガ昨年ノ昭和三年ノ一月ニハ二百二十四・二トナッテ居リマス、ソレガ今年ノ一月ハ二百二十七・八六トナッテ居リマス、大體ノ此傾向ヲ迪リマススト云フト、昨年ノ一月ヨリモ物價指數全體ノ總平均ハ上ッテ居ル、二百二十四・一カラシテ、今年ノ一月ハ二百二十七・八六更ニ十二月ハソレヨリモ高イ、十一月モ高ウゴザイマシテ、二百二十九ニナッテ居リマス、二百二十九ト云フ數字ハ九月カラ二百二十九以上ノ數字ヲ總平均ガ維持シテ來テ居リマシテ、一月ニナリマシテ二百二十七・八六ニナッテ居リマス、是モ先程申上ダマシタ如ク昨年ノ一月ノ二百二十四・一ヨリ高イ、米ハ先程申上ダマシタ如ク今年ノ一月ハ二百三十九ト云フノデアリマスカラ、大分米ハ下ッテ、全體ノ物價指數ノ傾向ハ騰貴シテ居ルニ拘ラズ、米ハ下落シテ居ルト云フ狀態デアリマス、尙ホ他ノモノヲ申上ダマススト、大麥ハ昨年ノ一月ガ二百九十一デアリマス、昭和四年ノ一月ハ二百九十五、是モ少シ高イ、ソレカラ魚肥ノコトヲ御話ニナリマシタガ、魚肥ハ昭和二年一月ハ、百五十八、今年ノ一月ハ、百七十一、魚肥ハ上ッテ居リマス、ソレカラ硫酸「アムモニア」、ソレハ昨年ノ一月ガ百二十、ソレカラ百二十

ト云フ數字モ少シツツズット上ッテ居リマシテ、六月ニハ百二十二ニナッテ居リマス、ソレカラ少シツツ下ッテ居リマスガ、今年ノ一月ハ百十七、ソレデアリマスカラ昨年ヨリ少シ低イコトガ三位低イ、此低イ狀態ハ米ヨリモ餘程開キガ小サイノデアリマシテ、米ハ大分開キガ大キイ、大體ノ數字ガサウ云フ風ニナッテ居リマスガ、更ニ肥料ニ付キマシテ先程御話ニナリマシタ如ク、必シモ米價調節ヲ致シマス場合ニ、一般物價指數ト米價指數トバカリ比較シテ居ルノデアリマセヌ、最モ重キヲ置カナケレバナラヌノハ、或ハ肥料ノ如キモノ、價格ニ聊カ重キヲ置カナケレバナラヌモノト思フノデアリマス、米ノ生産費ト現在ノ米價ト比べル場合モアリマスルシ、將來ノ生産費、即チ生産ヲ繼續シテ行キマス場合ニ於テノ、一ツノ豫想ニナリマス肥料ノ如キモノヲ考ヘマシテ、米ヲ此値段デ肥料ト買換ヘタ場合ニドウ云フ狀態ニナルカト云フコトモ考ヘテ居ル次第デアリマシテ、其外主要ノ食糧品デアルトカ、農家ニ必要ナル物資ノ價ト比較スルトカ、種々ノ方面ヨリ物價關係デ考慮スル場合ニハ致シテ居リマス、全體ノ物價指數ノミヲ標準ニハ致シテ居ラナイ、次ニ肥料ノ相場ニ付テ申上ダマススト、大豆粕ガ昨年ノ一月二月ヲ百トシテ比ベテ見マシテ今年ノ一月二月ハ、今年ノ方ガ高イノ

デアリマシテ百六十ナッテ居リマス、昨年ノ一月二月ヲ百ニシマシテ今年ノ一月二月ト比ベテ見マス、硫酸「アムモニア」ハ今年一月ガ九十七・九、ソレハ先程申上デマス如クチヨット下ッテ居リマス、昨年ノ一月ニ比ベマシテ九十七・九、昨年ノ二月ニ比ベマシテ今年ノ二月ハ九十五・五、ソレカラ肥料ノモウツノ主ナルモノト致シマシテ過燐酸石灰、是ハ昨年一月ト同様デ同年ノ一月モ百、二月ハ昨年ノ二月ヨリモ少シ低イノデアリマシテ、九十六・九、米ハドウ云フ状態ニナッテ居ルカト申シマス、昨年ノ一月ニ比ベマシテ同年ノ一月ハ、八十八・八ト云フコトニナッテ居リマス、ソレカラ二月ハ、八十九・二ト云フコトニナッテ居リマス、大體昨年ノ一月以來一年ヲ通ジマシテ前年ノ状態ト比ベマシテ、昨年ノ三月カラ十二月ノ關係ハ、一昨年ノ三月カラ十二月ノ關係ヲ矢張り茲ニ表ニ示シテ居ルノデアリマス、昭和二年ノ三月四月五月乃至十二月迄ノモノト、昭和三年ノ三月乃至十二月迄ノモノトヲ比ベテ見マス、昭和二年ヲ百トシマシテ、昭和三年ノ十二月マデノ分ヲ見マス、何レモ九十三・八デ、ソレハ九月デアリマス、其次ガ十二月ハ九十一・九ニナッテ居リマス、其他ハ大體八十臺デアリマス、過燐酸石灰ヲ見マシテモ、硫酸「アムモニア」ヲ見マシテモ、大豆粕ヲ見マシ

テモ、大豆粕ノ如キハ大體ニ於テ百ヨリ以上ニナッテ居リマス、大體ヲ見マシテ、米ダケガ低イ、此肥料トフ比較致シマスルト、低イト云フヤウナコトニナッテ居ルト云フコトガ市サレテ居ルノデアリマス、是ハ唯日本銀行ノ物價指數ダケノコトヲ申上デタノデアリマスガ、更ニ之ヲモウ少シ合理的ナ標準デ眺メテ居リマスノハ別ニアルノデアリマス、ソレハ明治四十年カラ大正二年ニ至リマス七箇年ノ平均ト云フモノヲ百トシテ、サウシテソレト今日ヲ眺メルト云フコトヲ致シテ居ル、ソレハ先程申シマシタ日本銀行ノ、唯三十三年ノ十月ダケヲ見テ其時カラノ開キヲ見ルト云フノヨリモ幾ラカ合理的デス、七箇年ノ平均、明治四十年乃至大正二年ノ七箇年ノ平均、ソレヲ百ト致シマシテ、標準物價指數、是ハ五十六種ノモノヲ較ベテ、米ヲ百ニ致シマシテ、近頃ノ狀態ヲ見テ參リマス、昨年ノ十月以來ハ米ノ方ガ一般ノ物價指數ヨリモ低イ、五十六種ノ平均ヨリモ……、ソレハ昨年ノ十月ハ米ノ方ガ百八十・二ニナッテ居リマス、諸物價ノ方ハ百八十二・三デアリマス、ソレハ以來ハ米ノ方ガズット低イノデアリマシテ、今年ノ二月ノ狀態ハ、米ノ方ガ百六十八・四、一般物價指數ガ百七十九・五、斯ウ云フコトニナッテ居リマス、ソレカラ先程大臣ガ御話ニナリマシタ買換ノ問題デナヨット申上デテ

置キタイト思ヒマスノハ、買換ヲ致シマス場合ニ、今年ノヤウナ米ガ大變ニ溢レテ居リマス時ニハ、古米ガ市場ニ出マシタ爲ニ、又米價ヲ安クスル方ニ衝動ヲ與ヘルコトヲ非常ニ農林省トシテ怖レテ居ル譯デアリマス、大阪、名古屋、京都ナドノ取引所ニ於キマシテハ、十五年ノ產米ガマダ今年ノ二月マデ場ニアリマス、サウ云フ關係ガアリマスノデ、清算市場ニカ、ラナイ米ヲ賣リマシテ、サウシテ清算取引ノ標準米、受渡米ニナリマスモノヲ政府ノ方ニ吸收スルト云フ方針ヲ執ッテ居ル、是ハ昨年ハ御承知ノ如ク、六千三十万石デアリマス、一昨年ハ六千二百万石ト云フガ如キ豐作ガ二年續イテ居ル、サウ云フ關係デ所有米モ從來ヨリモ多クナッテ居リマス、數量ノ方カラ申シマシテモ、サウ云フ多イ數量ヲ政府ノ方デ買上ゲナケレバナラヌ關係ガ生ジテ居ルノデアリマス、サウ云フヤウナ狀態デ今日ハ段段米ガ下ッテ居ル趨勢ニアル時代デアリマスカラ、其際ニ尙ホ政府ノ買換ニ依リマシテ、清算米ノ受渡米ニナルヤウナ米ヲ市場ニ溢レ出サセルト云フコトハ結局米ヲ安クサセルト云フコトニナルノデ、市場關係ヲ顧慮イタシテ居ル關係カラ昨年ノ暮カラ一月ニ掛ケマシタ買換米ニハ、十五年ノ產米モ勿論ヤルシ、十三年ノ產米モ賣レ、バ賣リタイト思ヒマシテ、少シダケハ出シマシタケ

レドモ、全部ハ出サナカッタ、サウシテ一方ニ於テ清算米ニカ、ッテ居ルサウ云フ關係ヲ考慮イタシマシタ、尙ホソレヲ今日直グニ買換ヘタラドウカト云フ御議論モ其處ニアリマスルガ、ソレハ又今年ノ暮カラ來年ノ初メニ當リマシテ、詰リ端境期ノ際ノコトヲ考慮シナケレバナラヌノデ、其時ノ買換米ハ十五年ノ產米シカナイ、其外ニ米ヲ出シマス、矢張り清算米ニカ、ッテシマフ、買換シマシテ清算ニカ、ル米ヲ渡スト云フコトハ調節ノ上ニ非常ニ關係ガアル、サウ云フ意味ニ於テ考慮イタシテ居ル次第デアリマス

○委員外議員(上山滿之進君) ナヨット政府ノ方デハ私ノ意味ヲ誤解サレテ居ルヤウデアリマス、ソレダケヲヨット申シテ置キマス、私ガ日本銀行ノ諸物價指數ヲ引用イタシマシタノハ、一例トシテ引用シタト私ハ明瞭ニ申シテ居ル積リデアリマス、何ダカ政府ノ御答辯ニ依ルト私ガ物價指數ヲ唯一ノ基礎ニシテ米ノ價格ヲ安クナイ、高イト言ッテ居ルヤウナ風ニ誤解サレテヤシナйкаト思ヒマス、是ハ斷ジテサウデハアリマセヌ、モウ少シ私ハ深ク此問題ニ付テハ考ヘテ居ル積リデアリマス、ソレカラ只今政府委員ノ御述ベニナリマシタ詳細ノ數字ハ私ハ爭ヒマセヌ、ソコ迄ハ調べル必要ガナカッタカラ、調べナカッタダケデ爭ヒマシヌ、

唯申シテ置キタイコトハソレハ認メマス
レドモ、此政府が買上ゲノ爲ニ出動シナ
レバナラヌト云フ時ハ、ソシナ僅カナ上
下リデ直グアワテ飛ビ出スモノデナイ
云フコトヲ私ハ信ジテ居ルノデアリマス、
ソレデソレノ數字ハ認メマスガ、其私ニ依
テ認メラレタ、政府ノ述ベラレタ數字ガ出
動ヲ必要ト云フダケノ程度ノモノデア
ルカドウカト云フコトヲ考ヘナケレバ
ナラヌト云フコトヲ、茲ニ附ケ加ヘテ置
キマス、ソレカラ只今ノ御説明ニ付テ實
ハ少シク驚キマシタガ、清算市場ニカ
、ル米ハ賣リ出セナイ、斯ウ云フ御話
デアリマスガ、是ハ初メテ承テ、先刻申
述ベマシタ通りニ古米ヲ出スト、古米
ノ値段次第デハ幾ラカ影響ハ及ビマセ
ウケレドモ、其影響タルヤ蓋シ僅カナ
モノデアテ、サウシテ是ガモウ數日ニ
落着クコトハ私ハ確カナリト信ズルノ
デアリマス、サウ云フ氣兼ヲシナイデ
矢張り買換ハ買換トシテズン、ヤッテ
行クト云フコトニシナケレバナラヌト
思フ、只今ノ政府ノ御方針ニ依ルト、
政府ノ持チ米ヲ古クシテ、變質ヲサ
セテ、而シテ後ニ賣ルト云フ結果ニナ
リ、ソレハ目的デハナク結果ニナル、
是ハサウデアッタトスレバ、米穀法ノ
運用上ニ不忠實ナモノデアル、ドコ迄
モ順ニ取扱フ行カナケレバナラヌト、
サウ云フ大體農林省ノ御考ヘダト、一
層今度又出ス

七千万圓ノ金ガドコヘ行クカ譯ガ分
マサウ云フ方針行カレテハ今後米穀
法ノ改正サレテモ、幾ラデモ金ハ要
シナニヨク改正サレテモ、幾ラデモ
金ハ要リマス、是ハ勿論極マリ切テ
居ル、サウ云フ方針ガ改メラレナイ
ト假ニスレバ、モウ米穀法ヲ廢メル
ヨリ外途ハナイ、私ハ非常ニ遺憾デ
アリマスケレドモ仕方ガナイ、是
ダケ申上ゲテ置キマス

○國務大臣(山本悌二郎君) 只今ノ買換ニ
關スル當局ノ立前ハ今政府委員カラ
説明シタヤウナ譯デアリマス、併シ
出來ル限リ米ヲ古クセズシテ、サウ
シテソレガ市場ニ影響ノナイモノ
デアレバ、無論其方ヲ取ラナケレバ
ナラヌノデアリマスカラ、只今ノ上
山君カラ述ラレタ點ニ付キマシテハ
尙ホ篤トヨク考究イタシマシテ、特
ニ又米穀法ノ改正調査委員會デモ
出來マスレバ、尙更此問題ハ矢張り
相當研究シテ貰フベキ問題ト考ヘテ
居リマスカラ、是ダケ申上ゲテ置
キマス

○男爵松岡均平君 質問デハアリ
マセヌガ、時間モアリマセヌカラ
此際材料ヲ要求イタシテ置キタイ
ト思ヒマス、質疑中ニ材料ヲ要求
スルコトハ面白クナイト思ヒマス
ガ、時間節約上、私一人デハナク
他ノ方モ同様ダト思ヒマスカラ、
是ダケノ材料デアレバ戴キタイ
ト思ヒマス、即チ自作農ニ關ス
ル方デアリマスガ、預金部ノ方
デドウ云フ

風ニ三千万圓ヲ捻出ナサル御計
畫ニナッテ居リマスガ、次ニハ自
作農ノ特別會計ノ歲入出ノ計畫、
將來ノ收支ノ御計畫ガアルダ
ラウト思ヒマスカラ、其計畫書
ト、殊ニソレガ若シ全部借入金
ニ依ツタ場合ト、ソレカラ一部
債券ニ依ツタ場合ノ兩様ノ御計
畫ガアルダラウト思ヒマス、是
等ノコトハ主モデアリマス、尙
ホソレヨリ外ニ衆議院ニ於テ御
提出ニナッテ重要ダト御考ヘ
ニナルモノヲ……全部トハ申
シマセヌ……重要ダト御考ヘ
ニナル材料ガアレバ出來ルダ
ケ早ク戴イテ、豫メ研究シテ置
キタイト思ヒマス

○國務大臣(山本悌二郎君) 承知
イタシマシタ
○委員長(子爵渡邊千冬君) 是デ
休憩ヲ致シマス、午後二時カラ開
會イタシマス
午後零時三十二分休憩
午後二時十八分開會
○委員長(子爵渡邊千冬君) 會議
ヲ開キマス、大河内子爵ニ申上
ゲマスガ、商工省ノ政府委員ガ
見エテ居ルサウデアリマスカラ、
其御答辯ヲ煩シマシテ引續イテ
御質問ヲ願ヒマス……ソレデハ
政府ノ希望ニ依リマシテ、間違
ヒガアルトイケマセヌカラ大
河内子爵カラモウ一應御質問ヲ
願ヒタイ
○子爵大河内正敏君 私人ノ商工
省當局ニ伺ヒタイト思ヒマス
ノハ、午前中ニ松岡男爵カラ御
質問ノアリマシタ東洋窒素工業
株式會社ガ從來得タ特許料二百
八十万圓バカリノモノハドウ云
フ風ニ處分サレカト云フノデア
リマシテ、ソレトモウ一ツハ臨
時窒素研究所ト云フモノガ出來
テ研究ヲ進メテ居リマスガ、先
ヅ研究ノ方ハ完了シタカラト云
フノデ高壓化學研究所ト云フ
モノニ變更サレタノデアリマス、
サウスルト云フト此窒素研究所
デ研究セラレタ結果ハドウシ
テモ實施シテ行カナケレバナ
ラヌ、實際産業ニ移シテ行カナ
ケレバナラヌト云フ義務ヲ商工
省ハ持シテ居ラレルト思フノ
デアリマス、其問題ガ今日肥料
管理ト云フモノガ出ル以上ハ、
ドウシテモ之ニ關聯シテ此方
ノモノモ解決サレナケレバナ
ラヌト云フノデアリマス、午前
ニチヨット伺ヒマシタノハサウ
云フ風ノ意味デアリマス、マダ
アトゴザイマスガ、ソレダケ
一ツ先キニ伺ヒタイ
○政府委員(吉野信次君) 御尋
ネノ東洋窒素會社デ今日マデ
得テ居リマスル「ローヤルティ
ー」ヲドウ處分スルカ、此點ニ
付キマシテハ法律上ノ問題ト
致シマシテハ其會社デ得マシ
タ特許料ニ對シテ政府ガ之ヲ
ドウ使フ、使ハヌト云フコト
ヲ御承知ノ通り干涉スル譯ニハ
參ラヌノデアリマス、御承知
ノ通りアノ會社ハ大正十五年
ニ設立サレマシテ「ハーバー」
ノ特許權ヲ有シテ居ルノデア
リマスガ、特許ノ表面上ノ權利
者ハ矢張り大正十年ニ換價處
分ヲ致シマシタ、十

人餘リノ人ガ詰リ共有シテ居ルノデアリマス、唯ソレヲ特許權者ト會社トノ間ノ契約ニ依リマシテ會社ハソレヲ有テ居ル、併ナガラ法律上ノ特許權者ニハアノ會社ハナッテ居リマセヌ、ソレデ併シ色澤山ノ特許料ヲ徵收スルノミデ、何等爲ス所ガナイヤウニ見エマスノデ非難モゴザイマスノデ、唯當局ト致シマシテハ、之ニ對シテ如何ナル手段ヲ講ジ得ルカト云フコトニ付キマシテハ實ハ寄リ一考ヘテ居ルノデゴザイマス、併ナガラ只今申シマシタ通り、得テ居ル特許料ヲドウシロ、斯ウシロト云フ譯ニハ法律上ノ處分シテハ參リマセヌガ、唯法律ノ規定上正當ナル理由ガナクシテ、三年ノ間帝國内ニ於テ適當ナル特許權ヲ實施シナイ場合ニ、取消シ得ルノ途ガ特許法ノ規定ニゴザイマス、ソレデ問題ハ若シ東洋窒素工業株式會社ガ不都合デアラナラバ、其持テ居ル特許權ヲ取消シ得ルノ途ガアル譯デアリマス、併シ之ヲ純然タル法律上ノ問題ト致シマシテハ色澤山疑點ガゴザイマスノデス、果シテ正當ナル理由ナクシテ之ヲ實施シナイカドウカト云フコトニナルト、又公益上ノ必要ガアルト認定スル所ノ理由カドウカト云フ風ニ、法律デ以テ裁クト云フコトニナリマス、色澤山疑點トスベキ點モゴザイマスノデ、寧ロスウ云フ問題ハ唯會社側ノ德義ニ訴ヘテ適當ナル解決ヲ

スルト云フコトニ、實ハ當局トシテハ期待シテ居ル次第デゴザイマス、今日迄澤山ノ特許料ハ取テ居リマスケレドモ、又會社側ト致シマシテモ此得タル特許權ニ基キ、又「ハーバー」ノ特許權ノ實權ガ我國ニ於テ適當デナイ事情ガゴザイマスレバ、外ノ他ノ方法ニ依テ免角此窒素肥料ト云フモノノ工業ヲ起スト云フコトニ付キマシテ、矢張り相當ノ誠意ヲ以テ調査ヲ進メ、又ソレガ爲ニ金モ費シテ居ルヤウデアリマシテ、實ハ當局ト致シマシテハ德義ニ訴ヘマシテ、其東洋窒素株式會社ノ其得タル多額ノ特許料ヲ處分スルニ付テ善處スルヤウニト云フコトヲ期待シテ居ル次第デゴザイマス、ソレ以上ニ法律上ノ處分ニ訴ヘテドウスルスウルト云フコトハドウモ唯今マデノトコロ致方ガイヤウニ思フ次第デゴザイマス、第二ノ御尋ノ臨時窒素研究所ガ閉鎖シテ、其結果ハ商工省トシテハ豫期ノ成績ヲ擧ゲタルモノトシテ、アノ研究所ヲ閉鎖シタノデアラカラ、之ヲ實施スルノ義務ヲ負フテ居ルガ、ソレニ對シテドウ云フコトヲヤテ居ルカ、此コトニ付テハ實ハ當局ト致シマシテハ十分ニ考ヘテ居リマス、實ハ今問題ニナッテ居リマス東洋窒素デハ幸ニ多額ノ特許料ヲ取テ居ルコトデモアリマスカラ、サウ云フヤウナ企業者ガ臨時窒素研究所ノ研究ノ成績ヲ實施シテ貰ヘ

バ、大變仕合セデアルト云フヤウナ考モ實ハ持ッタコトモアルノデゴザイマス、ソレカラ今此席デマダ申上グル程ニハ具體的ニハナッテ居リマセヌケレドモ、最近民間ノ企業者ガ獨逸ニ參リマシテ、或特許權ヲ得ル爲ニ參ッタサウデゴザイマスルガ、其企業者ガ歸テ參リマシテ、硫安ノ製造ヲ實施スルニ付キマシテ色澤山調査シタ結果、我ガ窒素研究所デ從來研究シテ居タ成績ヲ其儘ノヲ用フルノガ最も適切デハナイカト云フヤウナ結論ヲ得ルニ近付イテ居ルヤウデアリマシテ、今サウ云フヤウナ方面ニモ實ハ内ニデハ話ヲ進メテ居ルヤウナコトモゴザイマスルノデ、今後トモ十分商工當局ト致シマシテハ、從來ノ研究ノ結果ガ無駄ニ終ラナイヤウニ、是ガ實現ニ向ッテ一段ノ努力ヲ致シタイ、斯様ニ考ヘテ居リマス

○子爵大河内正敏君 「ハーバー」ノ特許法ヲ有テ居ルモノハ何名カノ連名デアッテ、而シテ東洋窒素工業會社ハ「ハーバー」ノ特許權ヲ有テ居ラナイ、其入カラ詰リ特許權ノ使用ヲ認諾サレテ居ルト言ヒマス、特許權ノ實施ノ承諾ヲ得テ居ルノデアルト云フヤウナコトデアリマスガ、元々政府ガ拂下ダヲシマシタ時ニ、僅ノ金デ、確力一萬圓ダッタト思ヒマスガ、其「ハーバー」ノ特許法ト云フモノヲ拂下ダタノハ、此仕事ヲ日本ノ國內ニ於テ起シタイノデアル、又其

人ニ依ッテ起サセルト云フ考ノ下ニ拂下ダヲシタ、サウデナケレバ拂下ダル必要ガナイ、所ガ拂下ダヲ受ケタ人ハ今日ニ至ルマデ實施セズ、而シテ東洋窒素工業株式會社ト云フモノガ出來テ、其特許權ダケヲ、所謂「ロイヤルティ」ダケヲ取ッテ居ルト云フコトハドウシテモ不合理ト私ハ思フ、若シ實施スル所ノ能力ナシト云フコトガモト政府ノ方デ早ク認メラレタナラバ、早ク此特許ヲ取上グルナリ、或ハ特許ト云フモノヲ無効ニスルナリ、何等カノ方法ガアル、併ナガラ是ハ東洋窒素株式會社ト云フモノガ實施ノ能力ナシト私ハ見ルカラスウ云フコトヲ申上ダ、ト云フノハ何デアルカト云フト、今モ政府委員カラ御話ガアリマシタ如ク、此會社ハ「ハーバー」法ノ特許ヲ自分ガ實施シ得ルニ拘ラズ、今日マデ例ヘバ亞米利加二人ヲ派シテ亞米利加ノ特許ヲ買ハウトスル、或ハ獨逸ヘ行ッテ獨逸ノ特許ヲ買ハウトスル、伊太利ニ行ッテ伊太利ノ特許ヲ買ハウトスル、總テ外國ノ特許ヲ漁ッテ歩イテ、其中カラ良イノヲ買ッテ來ヤウトシテ居ルノデアリマス、ソレハ何デアルカ、「ハーバー」ト云フモノガ今日デハ生産費ガ一番安イト云フコトハ誰モ認メテ居ル、其特許法ヲ有テ居ルニ拘ラズ何故外國ノ特許ヲ高イ金ヲ出シテ買ハナケレバナラヌカ、ト云フノハ全ク日本ノ事業家ノ無能

ノ爲デアリマス、ソレハ外ノ特許デアリマス
スト云フト、高イ金ヲ出シマスナラバ、
スツカリ機械カラ、總テノ裝置カラ、方法カ
ラ何カラスツカリ拵ヘテ、教ヘテ呉レテ、機
械ノ組立ガ濟メバ直グ製造ガ始マルト云ス
ヤウナ、所謂御膳立ヲスツカリシテ呉レル
カラ、ソレヲ買ヒニ行ク、所ガ「ハーバー」
法デアルト云フト、日本ノ政府ニ特許權ヲ
沒收サレテ居リマスカラ、中メソレマデノ
御膳立ヲシテ呉レナイ、所ガソレデハ速モ
今ノ特許權ヲ持ッテ居ル人達ハヤレナイ、此
室素固定工業ト云フモノハ成程ムヅカシイ
工業デアリマスカラ、唯特許權ヲ持ッテ居
タト云フダケデハドウシテモヤレナイ、結
局實施能力ガナイト私ハ思ッテ居ル、サウ
シテ内地ニ輸入サレル硫酸ニ「ローヤルテ
イー」ヲ取ルト云フコトハ、所謂私設關稅
ヲ設ケテ置イテ、日本ニ於ケル肥料ノ價格
ヲ騰貴サシテ居ル、サウシテ國產振興ノ聲
ガ盛シナ時ニ日本ノ發明トカ特許トカ云フ
コトヲマルデ考ヘズシテ、唯無暗ニ資本ノ
力デ外國カラ高イ裝置ヲ買ヒ、發明ヲ買ッ
テ肥料ノ製造ヲ初メヤウト云フコトハ、ドウ
モ商工省ノ方針トシテハ如何ニモ矛盾デア
ルト思フ、殊ニ私ノ遺憾トスルコトハ、此
肥料ノ建議案ガ出ル時ニモ申シマシタ如
ク、商工省ハ自分ノ所デ以テ室素ノ肥料ヲ
大變ニ造リ得ル、何ト申シマスガ、原料ヲ

持ッテ居ル、ソレハ何デアルカト云フト、即
チ製鐵所デアリマス、八幡ノ製鐵所ニアレ
ダケノモノヲ持ッテ居ル、此「アムモニア」
ノ原料ニナリマス所ノ水素ガ澤山出テ居
ル、ソレヲ利用サレズニドント燃料トシ
テ使ハレテ居ル、是ダケノ原料ヲ持ッテ居
テ、室素研究所ト云フモノヲ片方ニ控ヘ、而
モソコデ良イ特許權ガアルノニ、ドウシテ商
工省ガ此肥料問題ノヤカマシイ時ニ是ニ著
手セラレナイト云フコトハ、如何ニモ殘念
ダ、然ルニ民間ノ方ハモット機敏デアリマ
ス、例ヘバ玄人ノ方ハ八幡製鐵所ノ管理シ
テ居ル東洋製鐵カラ水素ヲ買ヒマシテ、サ
ウシテ愈々度々東洋製鐵ノ中デ以テ肥料
ノ製造ヲ始メヤウトシテ居ル、是ハ民間ニ
讓ルベキモノデナクテ、政府ガ持ッテ居ルモ
ノデ政府ガ直接ヤラナケレバナラヌモノト
思フ、今朝モ申上ダマシタ如クドウモ肥料
問題ニ對シテハ商工省ノ當局ハ如何ニモ不
熱心デアル、餘リニ繼子扱ヒニシテ居ル、是
ハ肥料調査會ノ時カラ始終考ヘテ居ル、此問
題ニ對シテハドウ云フ御考デアリマセウカ
○志村源太郎君 途中デ甚ダ失禮デアリマ
スケレドモ、今ノ問題ハ私ハ御話ヲ伺フニ付
テ根本ガ分ラヌノデアリマスガ、其「ロー
ヤルテイ」トカ「ハーバー」法トカ云フコ
トノ行キ掛リデアリマスガ、ソレヲ一ツ伺
ヒタイト思ヒマスガ……

○政府委員(吉野信次君) ソレデハ先ヅ第
一ニ今志村サンノ御尋ノ點ヲ御答イタシマ
ス、丁度獨逸トノ間ニ戰爭ガ始マリマシタ
ノデ其當時大變ニ澤山ノ特許權ガ……獨逸
人ノ特許權ヲ登錄シタモノガ澤山アリマシ
タ、ソレデ大正八年ニ法律ヲ出シマシテ、
詰リ今日カラ申シマスレバ、好イ機會デア
ルカラ其獨逸ノ特許權ノ目ボシイモノヲ日
本ノ國內ニ實施シヤウト云フヤウナ積リデ
アッタラウト思ヒマス、ソレデ戰時工業所有
權ノ專用ニ關スル法律ト云フモノヲ出シマ
シテ、サウシテ獨逸ノ特許權ト云フモノ、
實施權ヲ與ヘルト云フ法制ヲ立テマシタ、ソ
レニ依ッテ私共ノ臨時室素研究所モ、「ハー
バー」ノ實施權ヲ貰ヒマシタ、又海軍ノ
方デモ取リマシタ、ソレカラ今問題ニナッテ
居リマスル企業家ノ十數名ノ人モ其專用權
ヲ持ッテ居ッタデアリマスガ、ソレガ大正
十年デアッタト思ヒマスガ、其戰時ニ於ケル
工業ノ所有權……戰時ニ取リマシタ工業所
有權ト云フモノ、管理ヲシマシテ、之ヲ處
分スルコトガ出來ルト云フコトニナリマシ
テ、サウシテ東京府知事ガ此「ハーバー」ノ
特許權ト云フモノヲ一時管理スルコトニナ
リマシタ、「ハーバー」ノ特許權ト一口ニ申
シマスケレドモ、確カ十八ノ特許權デアッタ
ト記憶イタシテ居リマス、主ナルモノノ
外、之ニ附隨シテ居リマシタモノガ十七バ

カリアッタト記憶イタシテ居リマス、其モノ
ヲ一括イタシマシテ、東京府知事ガ之ヲ管
理シマシテ、法律ニ依リマスルト、其管理
者ハ之ヲ處分スルコトガ出來ルヤウナ立前
ニナッテ居リマス、ソレデ只今大河内子爵カ
ラ御話ノアリマシタ通り、其時東京府知事
ハ之ヲ一萬圓デ、今ノ權利者ニ之ヲ與ヘマ
シタ、ソレガ大正十四年ニナリマシテ、特
許權ノ十五年ノ期限ガ參リマシタ、法律ニ
依リマスルト、重要ナ發明デアッテ而シテ特
許權ノ期間中ニ相當ノ利益ヲ舉ゲルコトガ
出來ナイ場合ニハ、更ニ期間ヲ延長スルコ
トニナッテ居リマス、其延長期間ハ十年デゴ
ザイマス、十年間ノ範圍内ニ於テ、或ハ十
年、或ハ七年、或ハ五年ト云フ延長ニナッテ
居リマスガ、ソコデ十四年ニ第一回ノ期限
切レマシタノデ、延長ヲ願ッテ參ッタノデア
リマス、其時ニ何セマダ實施シテ居リマセ
ヌカラ、相當ノ收益ヲ舉ゲテ居ラナイコト
ハ是ハ當然ナコトデアリマス、又法律上ノ
所謂重要ナ發明ト見ナイ譯ニ參ラヌノデア
リマス、ソコデ十四年デアッタト記憶イタシ
テ居リマスルガ、十年ノ延長シ得ル期間ノ
最長期ヲ、此「ハーバー」ノ本ニナッテ居リ
マスル、一番根本ノモノニ對シテ、延長ヲ
許シマシタ、ソレデアリマスカラ、今後丁
度昭和十年迄デゴザイマスガ、昭和十年迄
ノ間、權利ヲ有ッテ居ルト云フコトニナッテ

居リマス、其時ニ其後澤山ノ、其後附隨シテ参リマシタモノハ、矢張り皆期間が満了マスケレドモ、續々踵テ次イデ期間が満了ニナツテ参リマシタノデ、政府ニ矢張り同じヤウニ特許權ノ延長ヲ願フテ参リタノデアリマス私共トシテハ其本ニナル權利ハ重要ナ發明ダトシテ延長ヲ許シマシタケレドモ、附隨ノモノハ是ハ重要デナイト斯様ニ認めマシテ、外ノ十七バカリノモノハ皆延長ヲ不許可ニ致シマシタ、デスカラ今日「ハーバー」式ノ特許デ權利トシテ存在シテ居リマスモノハ、皆根本的ノモノノ一ツデゴザイマス、而シテ此法律ニ依リマスルト、國內デ特許權ガアリマス場合ニ、特許權者ニ非ラザル者ガ、ソレヲ實施スルコトが出来ナイコトハ當然デアリマスガ、法律ノ規定ニ依リマスルト、外國カラモ特許ノ目的物ニナツテ居リマス、モノヲ輸入スルコトが出来ナイ同意ヲ得マセスト……サウ云フ關係ニナツテ居リマスカラ、獨逸トシマシテハ折角「ハーバー」ノモノヲ作リマシテモ、ソレガ若シ日本デ今問題ニナツテ居ル權利ヲ所有シテ居リマスル、其權利ノ目的物デアレバ、濫リニ入レルコトハ出来マセスカラ、ソレデ大正十三年ノ六月デアッタと思ヒマスガ、確カ權利者ノ中ニハ三菱モ入ッテ居リマス、其三菱ノ人が獨逸ニ於キマシテ、其「ハーバー」ノ室素ヲ作リマスル、其會社ノ分身

デ「ハーバー」會社ガ別ニ出来テ居リマス、其會社ト契約ヲ結ビマシテ、一定ノ口錢ヲ拂テ日本ニ室素ヲ入レル、斯ウ云フ契約ヲ結ビマシタ、其契約ニ基キマシテ、尤モソレハ其契約ハ、是ハ商賣人ノ商取引ノコトデゴザイマシテ、大ビラニナツテ居ルノデハアリマセヌケレドモ、マア知ッテ居ル人ハ知ッテ居ルノデ、或意味カラハ公知ノ事實カモ知レマセヌガ、詰リ商賣人同士ノ契約デ、其口錢ヲ拂テコナラニ持ッテ來ル、口錢ト申シマスガ、特許料ト申シマスガ、サウ云フモノデ其金ガ積リ積ッテ今日ニ至リマシテ、先ニ御話ノ如ク二百八十万圓餘リニナツタ、斯ウ云フ關係デゴザイマス、サウシテ法律上ノ關係ハ、特許權ハ十人餘リノ人ノ共有ニナツテ居リマスノデ、ソレガ詰リ東洋窒素會社ニ其權利ヲ、當事者ノ間ニハ譲リ渡スコトニナツテ居ルダウト思ヒマス、併ナガラ特許局ニ對スル關係ハ、矢張り前ノ十人餘リノ人ノ共有ニナツテ居リマスカラ、東洋窒素ハ權利者ニハナツテ居ラナイ、是ハ唯法律上ノ立前デゴザイマス、サウ云フノガ「ハーバー」ノ特許權ト云フモノ……特許料ト云フモノノ大體ノ由來デゴザイマス、ソレカラ次ニ大河内子爵カラ……

○志村源太郎君 今ノ點ニ付テチヨット伺ヒマスサウスルト、「ハーバープロセス」ノ特許權ヲ或團體ガ持ッテ居ッテ、其人ガ日本ニ輸入シテ來ル窒素肥料ニ付テ一噸幾ラト云フ「ローヤルティー」ヲ取ル權利ガアルノデスカ

○政府委員(吉野信次君) 左様デゴザイマス、詰リ法律上ノ關係デ承諾ヲ與ヘテ居タ……直接與ヘル何トシテ只今申シマシタ一定ノ歩合ノ金ヲ納メルノデス

○志村源太郎君 「ハーバープロセス」デ出來タ窒素肥料ハ區分ガ出來マスガ

○政府委員(吉野信次君) ソレハドウモ私専門的ノ話ニナリマス……兎ニ角問題ガアルヤウデアリマス

○子爵大河内正敏君 ソレハ區別ガ出來ナイノデアリマス、區別ハ出來ナイノデアリマスガ、外國ハ特許權ト云フコトヲ非常ニ尊重シマシテ、特許法違反ニナラナイコトヲ非常ニ注意シマス結果、「ハーバー」法デ造ッテ居ル會社ガ日本ニ入リマス場合ニハ、例ヘバ「ハーバー」法デナクテ造ッテモ自分ノ所ハ「ローヤルティー」ヲ拂フ、斯ウ云フ具合ノ向フハ紳士的態度ヲ維持シテ居ルノデアリマス、ソレデアリマスカラ、硫酸ガ日本ニ這入ッテ來マシテ、是ハ何法ガ發明サレタカト云フコトハ分ラナイ、分ラナイケレドモ、此硫酸ハドコノ會社デ以テ造ラレタモノデアル、其會社ハ「ハーバー」法ヲ

使ッテ居ルト號シテ居レバ、是ハ「ハーバー」法デ出來タノデアル、斯ウ認定スルノデアリマスガ、今ノ東洋窒素工業ノ問題ハ向フカラ默ッテ居リマシテモ、私ノ方ハ何万噸日本ニ今年ハ積出ス……一噸ニ付テ例ヘバ三圓バカリデアリマスガ、「スライディングスケール」ニナツテ居リマスガ、値段ニモ依リマスガ、約三圓ノ特許料ヲ默ッテ居ッテモ向フデドン……拂ッテ呉レル、ソレダケ日本ノモノハ高イモノニナル、斯ウ云フノガ私ノ質問ノナンデス

○志村源太郎君 英吉利ヤ亞米利加カラ這入ッテ來ル窒素肥料ニ於テハ取ラナイ、獨逸ハ同様ノ窒素ニ「ローヤルティー」ヲ拂ッテ居ル、斯ウ云フ譯デスカ

○子爵大河内正敏君 獨逸ノ會社デモ「ハーバー」法ヲ持ッテ居ル會社ダケガ拂ッテ居ルノデアリマス

○志村源太郎君 分リマシタ

○政府委員(吉野信次君) 次ニ大河内子爵カラノ御尋ネデゴザイマスガ、私モ唯法律上ノ規定ト致シマシテハ之ヲ法律ヲ改メザル限り如何トモ仕樣ガナイデハナイカト云フコトヲ申シマシタノデ、唯東洋窒素工業株式會社ハ何等爲ス所ナクシテ、無意味ニ澤山ノ「ローヤルティー」ヲ取ッテ居ルト云フコトハ決シテ宜シイトハ思ッテ居リマセヌ、唯道德上ノ話デ何トカシテ其金ヲ有意

義ニ使フヤウニト云フコトヲ努メタイ、斯様ニ考ヘテ居ル次第デゴザイマス、ソレカラ商工省トシテモウ一步進シデ、其工業ノ確立ノ爲ニ盡シテ宜イデハナイカト云フ御聞デゴザイマシタガ、其點ニ付キマシテハ是ハ大河内子爵モ能ク御存知ノ通り、實ハ商工審議會ニ於テ此空中室素固定ノ根本ノ確立ノ方策ト云フモノヲ今折角審議中デアリマス、果シテ其結果今仰シヤル通り國デ以テ造ルト云フコトニナリマス、或ハ民間ノ企業ヲ助成スルト云フコトニナリマス、何レ其審議ノ決定ニ依ッテ將來ノコトハ決スル、斯ウ云フマア手筈ニナッテ居リマス、唯從來ト致シマシテハ政府デ以テ自カカ此工業ヲ起スト云フコトハ考ヘマセヌデ、詰リ民間デノ企業ガ發達スルヤウニ民間ノ企業ヲ助成スル、斯ウ云フ立前デヤッテ居タモノデアリマス、或ハ只今御話ニナリマシタ通り商工當局トシテハ極メテ冷淡デアルガ如ク見エタカモ知レマセヌガ、併シ此問題ハ當局ノ方トシマシテハ念頭ヲ去ラナイデ、常ニ心懸ケテ居タモノデゴザイマス

○子爵大河内正敏君 私ハ商工當局ガ民間ノ産業ヲ獎勵サレル意味ニ於テハ頗ル同感デアリマシテ、至極贊成デアリマス、唯製鐵所ガ此問題ヲ構ハズニ居ルト云フコトハドウモ努力ガ足りナイト云フコトヲ私ハ考

ヘテ居リマス、何故カト言ヒマスト製鐵所ノ副産物トシテ硫安ガ出來ル、今日デモ出來テ居リマス、一万噸位ノモノデアリマス、ソレハ他ノ方法デ造ッテ居リマス、若シ「ハーバー」法ニ依ッテヤリマスナラバ、寧ロ十萬噸ノタシカ硫安ガ出來ルト思フ、サウスルト製鐵所ノ鐵ノ生産費ガ下ル、今日ノ製鐵ト云フモノハ總テノ副産物ヲ利用シナケレバ安ク出來ナイ、何處ノ製鐵所デモサウナッテ居リマス、其設備ヲ以テ現ニ今日デモ硫安ヲ造リツ、アル製鐵所ガ、ドウシテ此問題ヲ閑却サレテ居ルカ、ドウシテモ製鐵所ノ附屬トシテ所謂アスコノ副産物ヲ利用シナケレバナラス、サウスルト今二千萬圓デ以テ肥料ヲ管理サレル場合モ、寧ロ十萬噸ト云フ政府ノ硫安ガ出來ルト非常ニ管理ガ樂ニナリ、其目的ガ達セラレハシナイカ、ドウモ商工省ト農林省ト聯絡ガ十分取レテ居ラナイヤウニ思フノデアリマス、假ニ商工省ダダノ考ト致シマシテハ或ハ製鐵所ト云フモノノ龐大ナル生産費ヲ下ゲテ、收益ヲ擧ゲテ行クト云フコトハ是ハドウシテモヤラナケレバナラス、其方カラ考ヘマシテモ彼處デ肥料工場ト云フモノハ出來ナケレバナラス、斯ウ思フノデアリマス、其點ハ商工省デハドウ御考ヘニナッテ居リマスカト云フコトヲ伺タノデアリマス

○政府委員(吉野信次君) 辯明ガマシクナ

リマス、實ハ其問題ニ付キマシテモ私ハ技術者デゴザイマセヌガ、私ノ知レル限り眞正直ニ申上ゲタ方ガ宜カラウト思ヒマシタガ、今日デコソ製鐵所ノアノ副産物ノ水素ハサウ云フ方面ニ使フト云フコトニ付キマシテハ誰モ疑ヒナイノデアッテ、非常ニ結構ナコトデゴザイマス、昔ハアレカラ水素ヲ除イテハ御承知ノ通り、アレハアノ儘ニシテ捨テル譯デゴザイマセヌノデ、矢張りソレヲ燃料トシテ使フモノデアリマスカラ、マア研究ガ足ラナイト云ヘバ足ラナイノデアリマスケレドモ、當時ノ技術者ノ間ニ於テハアレカラ水素ヲ取ッテ貴チャ困ルト云フコトスラゴザイマシタノデアリマス、ソレデ大正十三年ニ、實ハ私佛蘭西ニ參リマシテ「クロード」ノ製鐵所ノ瓦斯カラ水素ヲ利用シテ居ルモノヲ見テ參リマシタ、其時ニモ日本デハ水素ヲ取ッテナニスルコトガ困ルト云フ説ガアルト云フコトヲ話シテ、向フデ笑ハレタヤウナコトモゴザイマシタ、實ハ「クロード」ノ特許權ノ實施ニ付キマシテモ餘程前ニ此製鐵所ニ對シテ水素ヲ使ハシテ呉レト云フコトノ希望ガアッタノデアリマスケレドモ、只今申上ゲマシタヤウナ技術上ノ研究ガ至ラナカッタト云フヤウナ關係ト、水素ヲ全部其方ヘヤルコトガ困ルト云フヤウナ考ナドモゴザイマシタノデ、實ハ「クロード」ノ問題デモ延ビ

ニナリマシテ、ヤットマア二三年前ニ或ハ水素ノ瓦斯ヲ使ハセルト云フコトニナッタヤウニ承知シテ居リマス、決シテ等閑ニ付シテ居ル譯デゴザイマセヌ、今日カラ批評スレバ色ミナ批評ヲサレル譯デアリマセウケレドモ、其當時ト致シマシテハサウ云フヤウナ事情モアッタヤウナ譯デゴザイマス、辯解ガマシクナリマスケレドモ、有ノ儘ヲ申上ゲタ方ガ宜シカラウト思ヒマス

○子爵大河内正敏君 私ハ是デ宜シウゴザイマス

○加藤政之助君 私ハ自作農ノ創設維持、此問題ニ付テ御質問ヲ致シタイト思ヒマス、ノデゴザイマス、元來自作農ヲ造ルト云フコトハ私ハ此農産ノ増加ノ上カラ、土地ヲ自作人ガ愛スルト云フ上カラ、極メテ必要ナコトグラウト云フコトデ、豫ネテヨリ考ヘテ居タ者デアリマス、ソレ故ニ自作農創設ニ付テ適當ナ方法ガ立ツナラバ、サウシテ此自作農ナルモノガ相當ノ利益ノ地位ニ立ッテ、其位置ヲ永續スルコトガ出來ルモノナラバ、之ヲ實行シタイト云フ觀念ハ常ニ持ッテ居ルノデアリマス、所ガ今度御提出ニナッタ此自作農創設維持ノ法案ヲ見マスト云フト、ドウモ私ノ希望ニ副ハナイノミナラズ、之ヲ實行シテ果シテ豫期ノ利益ヲ收メルコトガ出來ルカドウカト云フコトガ、疑問デアルト考ヘルノデアリマス、外

國ナド自作農ヲ造テ成功シテ居ル所モ相當アルヤウデアリマス、就中獨逸ナドデハ此五十年前カラ自作農ヲ造ルコトニ心配ヲシタ、特ニ千八百二十年カラ二十五迄、此間ニハ餘程自作農ヲ造タヤウデアリマス、是ガ自作農創設ヲ圓滿ニ爲シ遂ゲテ、サウシテ其自作農ガ永久ニ繼續性ヲ帶ビテ居ル、而シテ其自作農タル利益ヲ收メルコトガ出來タト云フ原因ハ何處ニアルカト云フト、獨逸デハ此自作農ニ與ヘルベキ土地ガ、官有ノ未開地ガ大分アッタヤウデアリマス、又諸侯ノ領地ヲ沒收シ、其諸侯ノ沒收シタ領地ガ大分アッタヤウデアリマシテ、又「ポーランド」人ヲ全部追放シタ、其追放シタ跡地ガアッタ、又不住地主ノ所有地ガアッタ、斯ウ云フモノヲ根本トシテ自作農ヲ造タノデアリマス、而シテ其財源ハ何處カラ取ツタカト云フト、彼處ニハ「レンテン・バンク」ト云フ銀行ガアッテ、即チ土地銀行ガ此土地ヲ擔保ニ取ツテ、サウシテ資金ヲ貸出シタ、其貸出ス財源ハ何處ニアルカト言ヘバ、是ハ債券ノ發行デアアル、債券ヲ發行シテ一般ノ金融市場カラ金ヲ吸收スル、サウシテソレヲ此自作農創設資金ニ流用シテヤッタ、斯ウ云フコトガアッタ爲ニ、特ニ此自作農創設ガ此著實圓滿ニ運ンデ、其效果ヲ舉ゲタモノト思フノデアリマス、ソコデ日本デモ若シ此自作農創設ト云フコトヲ圖

滿ニヤラウトスルナラバ、今ノ獨逸ノヤウナ自作農ニ讓渡スベキ土地ト云フモノガ十分アレバ、無論結構ナコトデアルト思フノデアリマスガ、ドウモ日本ニハ獨逸ナドニ比ベテ、サウ云フモノガナイト思フガ、併シ多少無イコトハナイ、例ヘバ官有地モアリマセウ、北海道アタリデモ官有地ハ大分アル、樺太ニモアル、朝鮮ニモアル、内地ニモマダ未墾ノ土地ガアル、御料地デ不用ノモノモアラウ、斯ウ云フヤウナモノヲ自作農ヲ造ル材料ニ提供スルト云フ考デ、政府ノ當局者ハ持ッテ居ラシヤッタノデアアルカ、又持ッテ居ラタトスレバ是等ニ付テ、自作農創設ニ付テハ第一番ニソコニ眼ヲ著ケルト云フコトガナケレバナラヌ、其點ニ考慮ヲ及ボシタコトガアルカナイカ、又此財源ニ付テモ獨逸流ノ「レンテン・バンク」デ、土地銀行デアルト云フコトニナレバ、此財源ハ無限ニ出來ル、國家ガ窮乏ノ財政カラ色々世話ヲセヌデモ相當ニ行ケルコトト思フノデス、是等ノコトニ付テ當局者ハ嘗テ考慮シタコトガアルカナイカ、ソレヲ御答ヘ願ヒタイ

○國務大臣(山本悌二郎君) 御尋ネノ第一點ノ今現在團地ニナッテ居ル分ヲ考慮ノ中ニ入レタコトガアルカト云フ御話デスガ、別段ソレハ考ヘタコトハアリマセヌ、現在ノ此法制ノ下ニ自作農ヲ拵ヘルト云フ分

ハ、第一先ヅ此小作人ガデス、小作人ガ地主ノ土地ヲ借りテ小作ヲシテ居ル、斯ウ云フ場合ニ此小作人ヲシテ地主タラシメルト云フコトヲ、先ヅ第一ノ著眼點ト致シテ居ルノデス、併ナガラ其小作ヲシテ居ル小作人トソレカラ土地ヲ貸シテ居ル地主ト、必シモ賣買ノ場合ニ一致シナイ場合モアルダラウト思フノデス、即チ小作人ガ地主ニナリタイト云フ場合ニ、其地主ハソレヲ賣リタクナイト云フ時ニハ、其小作人ハ外ノ賣リタイト云フ地主ヲ探シテ、ソレニ移ッテ行ク、其土地ヲ取得スルト云フ場合モ起ラウト思フノデス、大體ニ於テ今小作ヲシテ居ル者ヲシテ土地ヲ取得セシムルト云フ立前デアリマスカラ、現在ノ地主ト小作人ト云フコトヲ先ヅ以テ眼中ニ置イテ居ル、大キナ今空イテ居ル土地ト云フヤウナモノヲ、差詰メ標準ト致シテ居ラナイ、併シ往々サウ云フ必要ガ起レバ、無論ソレハ除外シテ行カウト云フ考モ持ッテ居リハシマセヌ、ソレカラ其次ノ財源ノ問題デス「レンテン・バンク」ノ如キモノヲ設ケテ、サウシテ債券ヲ發行シテ行タラ無限ニ行ケルデヤナイカ、其考ハ實ハ一遍持ッテ見タノデス、御承知ノ新聞紙ナドニ現ハレタ農林省案ト稱スルモノガ實ハソレデアッタノデス、少シ形ハ違ッテ居リマスケレドモ、サウ云フ形ノモノデアッタノデスケレドモ、ソレ

ハ色々議論ガアリマシテ、暫ク其金庫ト云フモノヲ拵ヘテ債券ヲ發行スルト云フコトハ差控ヘルコトニナリ、今日ノ大體預金部ノ金ヲ使ヒ、ソレデ足りナイ所ヲ特別會計カラ發行スル債券ニ依ッテ補充スルト云フ立前ニ直シタノデス、一度ハソレヲ考ヘタコトモゴザイマス

○加藤政之助君 只今ノ御説明ニ依ルト此官有地其他ヲ開放スルト云フ考モナイコトハナイガ、此案ノ目的ハソレデヤナイ、此案ハ既墾地デ既ニ小作シテ居ル土地ヲ地主カラ讓受ケテ、サウシテ自作農ヲ造ラウト云フコトノ方針デアアル、斯ウ云フコトデアリマスガ、既墾地ヲ自作人ガ讓リ受ケルトスルト云フト、ドウシテモ其既墾地ハ相當高イ値段デナケレバナラヌ、安イ値段デ強制シテ無理ニ賣ラスト云フコトハ出來ナイ、サウシテ只今申上ゲタガ如キ官有地其他ノ土地、空地、斯ウ云フモノニ自作農ヲ造ルトスレバ、是ハ安イ値段デ、比較的安イ値段デ自作農ニ之ヲ交付スルコトガ、讓渡スルコトガ出來ルノデアリマスカラ、サウスルト自作農ニ、讓渡サレタ自作農ト云フモノ自身モ大變ニ利益ヲ受ケルコトニナリマス、而シテ安イ値段デ取ルカラ利廻リノ上カラ言ッテモ、大變都合ガ好クテ永續性ヲ有ツ譯デアリマスガ、其代金ノ支拂ヒニモ一向苦シマヌ譯デアアルノデアリマ

ス、私ハ斯ウ云フコトヲ、自作農ヲ作ルト言ヘバ第一番ノ主眼ニ置イタ方ガ宜イノデハナイカ、斯ウ云フ觀念ヲ有テ居リマスガ、併シ當局者ハソレハ主眼デハナイ、斯ウ言ハレテ居ルノデアリマス、此政府カラ提供シタ書類ナドヲ見マスルト云フト、此自作農ニ譲渡スル土地、是ハ平均四百圓ト云フコトニナッテ居リマスヤウデアリマス、

是ハ日本勸業銀行ノ調ベナドモ……利廻リノ調ベナドモ御廻シニナッテ居リマスガ、此四百圓平均ト云フヤウナモノデ、全國ニ普遍的ニ自作農ヲ創設スルト云フコトガ出來ルカドウカ、私ハ餘程疑問ニ思フ、ソレハ實際私等ガ郷里アタリデ土地ノ賣買ヲ見マシテモ、モウ一番惡イ水害地デアッテ三年ニ一度位ホカ取レヌトカ、或ハ二年ニ一度位ホカ取レヌ、麥ハ取レルケレドモ、豆ハ取レナイ、斯ウ云フヤウナ粗末ナ土地デモ今三百五十圓前後イタシマス、デ相當ノ土地ニナルト云フト、相當ノ土地ジャナイ、ソレヨリ少シ良イノガ六百圓、モット良ケレバ八百圓、水害ノ全然ナイ土地デアルト千圓カラ千二百圓、斯ウ云フノデアリマス、此日本勸業銀行其他ノ調ベガ、是ハ何時シタノカ知ラヌガ是ガ全國的ニ四百圓ト云フヤウナ平均値段デ、地主カラ土地ヲ買ヒ取ッテ、自作農ヲ創設スルト云フヤウナコトガ出來ルデアリマセウカ、私ハ之ニ對シテ餘

程ノ疑問ヲ有テ居ル、實際ニ於テ私ハ土地ノ賣買ヲ自ラ經驗シ、自ラ見マシテ、ソレデ疑問ガアルノデス、當局者ハ是デ故障ナク行ケルト云フ御考デアリマスカ

○國務大臣(山本悌二郎君) 第一ノ土地ノ問題ニ付テ尙ホ誤解ガアッテハイケマセヌカラ申述ベテ置キマスガ、加藤君ガ申サレタ其大キナ團地ト云フモノハデス、ソレハ唯荒蕪地トシテ存在シテ居ルノデナク、既ニ相當開墾ヲシテ、水田ニナッテ居ルトスレバ、必ズヤ之ニ小作人ガ付イテ居タラウ、自ラ大キナ團地ヲ耕シマセヌカラ、必ズ是ハ小作ノ付ケアルモノニ相違ナイ、其場合ニ其小作人ガ自分ガ小作シテ居ル分ヲ買ヒタイ、地主モ亦之ヲ分割シテ賣ッテモ宜シイト云フコトニナレバ、直チニ此法制デ始末ヲスルコトガ出來ルノデアリマス、ソレハ決シテ除外シテ居ラナイト云フコトヲ申添ヘテ置キマス、ソレカラ四百圓ト云フ平均デハ連モ行ハレナイジヤナイカ、斯ウ云フ何デアリマスガ、今マデ此簡易保險デヤッテ居ルノハ、大概サウ云フ平均デ行ハテ居ルヤウニ聞イテ居リマス、又是カラ行ハウト云フモノハ、平均四百圓ト云フモノヲ取ッテ居ルト云フコトハソレト根柢ガアルノデアリマス、其詳シイコトハ今政府委員カラ説明イタシマス

○政府委員(松村眞一郎君) 此田畑ノ平均ノ値段ノ算出ノ基礎デアリマスガ、全國平均賣買價格變遷表ト云フモノガアリマスガ、ソレノ田ノ方ト畑ノ方トヲ平均シテ御覽ニナルト云フコト此四百圓ト云フモノハ餘リニ安イモノデナイ、先ヅ大體ソコヘ落付クヤウニ御覽ヲ願ヘルト思フ、尙ホ此細カイ計數ヲ計算イタシマシテ、ソコニ這入ッテ居リマスル地價ノ細カイ計數モアルノデアリマスガ、御覽ニナリマシテモ、大分値段ノ變遷ハアルノデゴザイマスガ、昭和二年ノ所デモ全國平均ノ田ノ方ガ五百四十六圓ニナッテ居リマス、田ノ方ハ……畑ノ方ガ昭和二年ニハ三百三十三圓、ト云フヤウナ工合ニナッテ居リマス、此割合ヲ御覽願ヒマシテ尙ホ詳シイ表ハ後カラ差上ゲルコトニ致シマス、誠ニ細カイ數ニナッテ居リマス、大體ハ今度自作農ヲ創設イタシマスルヤリ方ハ大正十五年以來簡易保險デヤッテ居リマスノト違ハナイノデアリマス、簡易保險ノ方デ矢張り田畑ノ平均デアリマシテ、四百圓ト云フコトヲ基礎ニシマシテサウシテ實行イタシテ來テ居ルモノ、ソレハ此自作農創設維持事業成績ト云フ印刷物ヲ差上ゲテ置キマシタ、ソレニ段當リノ値段ガ……賣買成立シマシタ場合ノ段當リノ値段ガ出テ居リマス、例ヘバ二十二頁ヲ御覽ヲ願ヒマス、ト云フト四百圓見當ノ金額デ、田ヲ見マシテモ必シモ無理デナイ、ト云フノハ此

成績ニ依ッテ現ハレテ居リマス、是ハ維持ノ方デス、創設ノ方ハ段當リ平均購入價格、田デス、十六頁……十七頁ノ所ニ總テノ平均ガ出テ居リマス、田ノ平均ガ三百八十七圓、畑ノ方ガ九十二圓ト云フコトガ出テ居リマス、大體是デ豫定ノ成績ヲ舉ゲテ來ッテ居ルノデアリマス、豫算ヲ見マシテ大體故障ナク行クデアラウト云フ見込デ進ンデ居ルノデアリマス

○加藤政之助君 其調ベハ今マデ自作農ヲ創設シタ場所ノ平均デスカ、或ハ全國的ニ登記所アタリデ賣買價格ヲ調ベテ、其根柢ニ依ッテ作表デゴザイマスカ

○政府委員(松村眞一郎君) 此印刷物ノ方ノハ實際ヤリマシタモノデアリマス、之ヲ御覽願ヒマス、前ニ申上ゲマシタ此變遷表ト云フノハ勸業銀行ノ調ベデアリマス、全國平均田畑賣買價格變遷表……

○加藤政之助君 其今迄簡易保險ノ方デ金ヲ貸付ケテ、サウシテ自作農ヲ創設シタト云フ所ハ何處何處デアリマスカ、全國的ニ普遍シテ居リマスカ

○政府委員(松村眞一郎君) 其表ハ昭和元年、昭和二年度自作農創設維持事業成績表ト云フモノヲ差上ゲテ居リマスガ……

○加藤政之助君 何縣ニ及ンデ居リマスカ

○政府委員(松村眞一郎君) 全國一般ニ及ンデ居リマシテ、東京府ハヤッテ居リマセ

又、其外ハ各府縣ニ…熊本ト東京府タケ
デスカ、昭和二年デアリマシタカニハヤッテ
居リマセヌガ、外ノ方ハ何處ノ府縣デモ…
ソレカラ岩手、沖繩ニハゴザイマセヌガ、
其外ハ各府縣スツカリ事實上行ハレテ居ル
ノデアリマス

○加藤政之助君 此計畫ヲ見マスルト云フ
ト、簡易保險ノ方ハ貸付利子ガ三分五厘、
ソレカラ今度新ニ此法律デアリマス計畫ノ
方ハ五分ト云フコトデアリマスガ、此二ツ
ノモノノ間ニハ非常ニ利子ノ相違ガアルノ
デゴザイマス、簡易保險ノ方デ自作農ノ創
設サレタモノハ大變ナ利益ヲ受ケル、年賦
金モ利子モ少イモノヲ拂ッテ済ム、所ガ今度
ノ法律デアリマス方ハ大變ニ利息ガ高イカ
ラシテ、從ッテ年賦ノ割拂ヒノ金モ多クナ
ル、斯ウ云フノデアリマスガ、此二方法ヲ
併行スルト云フコトハ非常ナ將來創設サレ
ル自作農ニ對シテ不公平ナル處置デア
ルト、斯ウ思フノデアリマスガ、政府ガ之ヲ
ヤルト云フ以上ハ何等カノ方法デ兩方共均
一ノ利拂、均一ノ年賦拂デ済ムト云フコト
ニナサラヌト云フト、國民ニ對シテ一方ハ
安イ利息デアリマスシ、一方ハ高イ利息デ
貸スト云フコトニナリマス、是ハ極メテ
不公平デアルト思フノデアリマスガ、當局
者ハ此點ニ考慮ヲ注ガレナクッタノデア
リマス

○國務大臣(山本權二郎君) 是ハ十分ノ考
慮ヲ致シタノデアリマス、致シタ結果ガ即
チ此提案シテアリマス法案ノヤウナ仕組ニ
ナッタノデアリマス、簡易保險ノ分デハ國ノ
補助ガ一分三厘アル、即チ四分八厘ノ簡易
保險ノ金デスケレドモ、ソレヲ農民ニ向ッテ
ハ三分五厘デ道府縣ニ貸付ケル、其間ニ一
分三厘ノ差ガアルモノハ、國カラシテ補給
ヲシテ、若シ此今回提案イタシマシタ法制
ニモ同ジク國庫ノ一分三厘ノ補助ヲ與ヘル
コトガ出來マスルナラバ、少クトモ此點ニ
於テハ簡易保險ノ分モ此分モ同ジ方法ニマ
アナルノ譯デス、所ガソコニ誠ニ困タコト
ハ、一分三厘ノ補助ト云フモノヲ、是ハ三
千万圓ト云フ年々ノ立前ニナッテ居リマス
ルガ、是ガ現在ノ三千万圓ニ對シテモ、一
分三厘ノ年々ノ補助ヲズツト續ケテ行カナ
ケレバナラヌト云フコトニナルト、隨分大
キナ國庫ノ負擔ニモナリマスルガ、將來若
シ此自作農創設維持ノ法制ガ宜シイ、非常
ニ利用ガ多イト云フコトニナルト、或ハ現
在ノ三千万圓ヲ六千万圓ニモ九千万圓ニモ
増加シ得ル時節モアリ得ルト考ヘナケレバ
ナリマセヌガ、若シサウ云フヤウナ場合ニ
ナレバ、成程此國庫ノ負擔ト云フモノハ非
常ニ重クナッテ行ク虞ガアルノデアリマス、
ソレ故ニ簡易保險ノ分ト此分ト同ジコト
ニ、一分三厘ノ補助ハシタイコトハ山ミデ

アリマスルケレドモ、又財政上ノ現在及將
來ノコトモ考ヘナケレバナラヌノデ、ソレ
故ニ補助ヲ與ヘナイト云フコトノ原則ト致
シタノデアリマス、左様ニ致シマシタ結果
ガ、此簡易保險ノ分ト此分トハ農民ニ取リ
マシテハ、今ノ加藤君ノ言ハレルヤウニ不
公平ナル狀態ヲ生ジナケレバナラヌコトニ
ナリマス、但シ是ガ爲ニ年々支拂フベキ所
ノ農民ノ年賦金ト云フモノハ違ハナイヤウ
ナ立前ニシテアル、ソレハドコデ調節シタ
カト言ヘバ、簡易保險ノ分ハ補助ヲ貰ッテ居
ルダケニ年限ガ二十五箇年デ済ム譯ニナ
テ居ルノデアリマスガ、此分ハ三十五箇年、
ソレデ年限ニ依ッテ調節シテ國家トシテ、年
々農民ノ拂フベキ所ノ年賦金ハ簡易保險ノ
分モ此分モ違ハナイヤウニシテアルノデア
リマス、農家ガ苦痛ヲ感ズル感ゼヌト云フ方
カラ申シマスレバ、簡易保險ノ方ハ年限ガ
短クナッテ居ルノデ、簡易保險ノ部分ニ對シ
テ、此部分ガ増加シテハ居ラナイ、斯ウ云
フ立前ニナッテ居ルノデアリマス、ソコデ實
行上ニ於テハ成程一分三厘ノ國ノ補助ヲ受
ケテ居ル分ト、ソレカラ受ケナイ分、即チ
簡易保險ノ分ト、今回ノ法制ニ依ル分トヲ
成ルベク組合セタイト思フ、各府縣ヘ此資金
ヲ總括的ニ割當テル場合ニ於キマシテモ、
又個人々々ニ之ヲ貸付ケル場合ニ於テモ、
自作農ノ分ト簡易保險ノ分ヲ組合セテ行ケ

バ、サウスレバ大シタ不公平ナド云フヤウ
ナコトガ起ラヌデヤナイカ、成ルベクサウ
云フ風ニ仕組ンデ行キタイ積リデアリマ
ス、例ヘバ個人ノ場合ヲ見マス、一町步
四千圓ノ土地ヲ買フト云フ場合ニ、簡易保
險ノ分デ、例ヘバ千圓貸付ケテアル、アト
ノ三千万ハ此分デ貸付ケテアル、斯ウナレ
バ一人ニ對シテ兩方ノ方法ガ結び付ケラレ
ル譯ニナルノデアリマスカラ、從ッテ之ガ徹
底シテ行ケバ大シタ不公平ハ起ラヌ譯ニナ
ルダラウト思ヒマス、併シ簡易保險ノ方ニ
ハ例ノ資金還元ト云フ原則ガアリマスカラ
シテ、必シモ只今申上デマシタヤウナ組合
セテ理想通りニ行フコトハ出來ナイカモ知
レマセヌガ、大抵ノ所マデハ行ケルノダラ
ウト思ヒマス、デスカラシテマア大シテ…
併シ理想ヲ言ヘバ同ジク一分三厘ヲ、此今
回ノ法制ノ分ニモ與ヘテ、サウシテ簡易保
險ノ分ト同ジクスルト云フコトハ、理想ト
シテハ私共希望イタシテ居リマスガ、マア
差詰メノ所デハ財政ノ狀態カラシテ之ヲ差
控ヘタ譯デアリマス

○委員長(子爵渡邊千冬君) 私チヨツト加
藤君ノ御許シヲ得テ、ソレニ關聯シタコト
ヲ政府ニ御尋ネシタイ點ガアリマスガ、只
今御話ニナリマシタヤウナコトハ法案ノ中
ニナクテ、計畫要旨ト云フモノニアリマス
ガ、其計畫要旨ト云フモノハドウシテ定マ

ルノデアリマス、利息ガ五分デアル、又ハ三十五年度ニ償還ノ途ヲ立テルトカ云フヤウナコトハ、此法案ノ精神トモ云フ程重大ナ事ダラウト思フノデアリマスガ、ソレハ法律ニ現ハレテ居ラズニ計畫要旨ト云フ中ニ唯書イテアルダケデスガ、是ハ勝手ニ變更サレル虞ガアルノデスガ、何カ理由ガアルノデアリマス、ソレヲ承リタイ

○國務大臣(山本悌二郎君) 大體今ノ總テノ計畫ガサウ云フ立前ニナッテ居ルノデアリマス、詰リ繼續のニ事ヲ行ハウトスル場合ニハ、ソレガ出來得ルヤウニ法制ガ立テテアルノデス、ソレヲ積極的ニ是ダケノ多數ノアル間ニヤルト云フコトハ、別ニ法律ニ規定セズシテ他ノ方法ニ依ッテ定メテ行クト云フ立前デアリマス、其詳シイコトハ今政府委員ヨリ説明イタサセマス

○政府委員(松村眞一郎君) 從來自作農ハ直接省令デ行テ居ルノデアリマス、簡易保險ノ方モ運用ノ委員會デ御決定ニナッタ後ニ、矢張り簡易保險ノ方モ逓信省ノ方デハ逓信省ノ省令ヲ出シテ居リ、農林省ハ農林省ノ方デ補助規則ト云フモノヲ出シテ居ル、矢張り兩方トモ省令デス、今度ノ法律ヲ必要ト致シマスノハ自作農ニ差向ケマス金額ニ恒久性ヲ與ヘルト云フコトガ要點ナノデゴザイマス、從來ノ運用ハ矢張り行政ノ働キトシテ、大臣ノ權限デ公布サレテ居

リマス省令デ運用イタシマス、簡易保險ノ方ハ簡易保險ノ運用委員會ニ毎年カケマシテ、サウシテ其承認ヲ得タ金額ヲ一年々々貸付ケルト云フ方針ニナッテ居ラズノデアリマス、今度ノ案ハ特別會計ヲ設ケマシテ、法律ノ規定デ長ク三千万圓ヲ毎年限度トシテ、貸付ヲ爲スコトガ出來ルト云フコトニ基礎ヲ固メタト云フ所ニ主眼點ガアルノデアリマス

○委員長(子爵渡邊千冬君) チョット同ジ問題デスガ、法律上ノコトニ付テ伺ヒタイノデスガ、此特別會計ト申ス以上ハ、三千万圓ト云フ限度モ必要デアリマセウガ、其法律ニ規定スルコトハ如何デアリマセウカ、自作農創設ト云フ意味カラ言ヘバ、ドウシテモ法律デ是ハ定マッテ居ラナイト云フト、甚ダ不確カナコトノヤウニ思ハレルノデスガ、法律デ定メレバ何カ不便ガアルノデアリマス、又ハ變更ヲスル時ナドノ便宜ノ爲ニ法律デ定メナイノデアリマスカ、何カ其邊ノ理由ガアレバモウ一應承リタイト思ヒマス

○政府委員(松村眞一郎君) 法律デ定メルノモノツノ方法カト思ヒマス、併ナガラ從來省令ニ依リマシテ運用シ來ッテ居リマシタノデアリマスガ、法律デ必ズサウ云フコトニ致スコトヲ義務付ケタ方ガ宜シイト云フコトデアレバ法律ヲ出スコトニナルダラウ

ト思ヒマス、運用ノ實際カラ省ノ權限ニ委セテ宜カラウト云フ御趣旨デアレバ、或ハソレデモ宜カラウト云フヤウニ考ヘルノデアリマスガ、是ハ御考ヘ次第デ何方デモ宜イカト思フノデアリマスガ、金額ノ方ハ制限ガアルノデアリマスルガ、是ダケノ財源ノ恒久性ヲ有ッテ居レバ、最モ新シク自作農ニナリマス者ニ有利ナル條件デ、政府ハ運用シテ參ルト云フコトノ制限ノ下ニ行ヒ得ル譯デアリマシテ、必シモ法律ヲ出サナケレバナラヌトモ考ヘナイノデ、斯ウ云フコトニ致シタノデアリマス、寧ろ財源ノ關係ヲ確實ニシマス方カラ申シマスルト、此特別會計ノ方デ交付金ノ方ノ或ハ利率デアリマストカ云フヤウナコト、或ハ償還ノ方法デアリマス、自ラ間接ニ其方モ極テ來ル譯デアリマス、其方モ矢張り特別會計ノ施行規則ト云フモノデ運用シテ參リタイ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマス、理論トシテ申サナイデモ別ニ差支ナイト云フヤウニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○加藤政之助君 唯今大臣ノ御答辯ニ依リマス、ト云フト簡易保險ト預金部トノ金ノ間ニ簡易保險ノ方ノ金ヲ貸シタ方ハ負擔ガ輕イ、預金部ノ方ハ重イト云フコトニナルガ、ソレヲ平均スル爲ニハ兩方ノ金ヲ半分ヅツ

ニツ組合シテ貸スト云フコトニナレバ、此不公平ハ除クコトガ出來ルト云フ御話デアリマスガ、今モ大臣ノ御話ノ通りニ簡易保險ノ方ハ簡易保險ヲ積立ツ當時ノ金額、ソレニ應ジテ還元ノ意味ヲ以テ貸スト云フコトニナッタノハ、其意味ヲ以テ徹底スベク簡易保險ノ方デ努メマスナラバ、之ヲ組合ハスト云フコトハ多クノ場合不可能ニナルト思フノデアリマスガ、此組合セデ以テ公平ヲ保ツコトハ確ニ困難ト思フ、一方ハ三十五年、一方ハ二十五スウナッテ、一方ノ年限ヲ長クシテ居ルカラ此年々拂フ負擔金ニハ差支ハ起ラナイ、斯ウ云フ御話デアリマスガ、其年々拂フモノニハ差支ガ餘リ起ラヌカ知ラヌガ、一方ハ二十五、一方ハ三十五年デアッテ、一方ハ十年間長イ間其手配ヲシナケレバナラヌト云フコトニナルカラ、矢張り負擔ハ非常ニ重イモノニナル疑ガアルト思フ、斯ウ云フ不公平ナコトヲ爲サルコトハ寧ろ自作農ヲ改メテ茲ニ御設定ニナルト云フ以上ハ均一ノ、成ルベク方針ヲ御執リニナッタ方ガ宜カラウ、多少國家ノ負擔ガ増スカモ知レヌ増シタ所ガ...

國民ニ對シテ一方ニハ輕イモノガアリ、一方ニハ重イ負擔ト云フコトハ甚ダ國ノ整理ノ上カラ面白クナイト思フガ、當局ハドウ云フ御考デアリマス

○國務大臣(山本悌二郎君) サウ云フヤウ

ナ御尋ハ衆議院ニ於テモ盛ニ起ツタノデア
リマスガ、一分三厘ト云フモノヲ補給スル
場合ト、補給シナイ場合ハ農民ノ負擔ガ何
方ガ重クナルト云フコトハ論ズルマデモナ
イノデア、唯年限ヲ長クシテ片方ハ一年一
年支拂ノ分ヲ、簡易保險ノ方ト均一ニシタ
イト云フコトハ、即チ農民ガ年々支拂フベ
キモノヲ餘リ過重ナラシメザルヤウニシタ
ケレドモ、併ナガラソレダケ年限ガ延ビル、
通算シテ見レバ無論農民ノ負擔ハ簡易保險

コトヲ考ヘルト云フトナカノ大キナモノ
ニナリマスカラ、是ハマア出来ナイ、出来
ナイトシテ見レバ致方ガナイカラソレデ是
ハ補給セヌコトノ立前ニスル、但シソレニ
依ッテ年々支拂フベキ年賦金ガ從來ノ簡易
保險ヨリハ更ニ増加シテ行ッテ、サウシテ
其支拂ヒニ困難ヲ感ズルト云フヤウナコト
ニナッテハ相成ラヌカラ、ソレニ又年限ヲ延
シテ其間ノ調節ヲ取ツタ、斯ウ云フ譯デアリ
マシテ、ドウモ是レ欲セザルニ非ズ、已ム
ヲ得ザレバナリト御承知ヲ願ヒタイ

ハナイデアラウト思フ、三十五年ト云フガ
如キハ是ハ國ニ取ツテハ長イ年限デナイガ、
人間ニ取ツテハ非常ニ長イ年限デ、之ヲモウ
少シ縮メテヤルト云フヤウナ御考ハ起ラヌ
ノデスカ
○國務大臣(山本悌二郎君) 縮メテヤラウ
トスレバ即チ補給ヲ與ヘルハナイノデア
リマス、ソレデ若シサウデナケレバ此年賦
金ガ高クナッテ行ク譯デアリマス、年賦金
ヲ多クシテ行クト云フコトニナルト云フト

ヤウニ思ヒマス、故ニ今日ノ程度ニ於テハ
此金額ト致シテ置キマシテ、他日又預金部
ノ都合其他ニ依ッテ増額スルコトガ出来ル
見込ガ立チマシタナラバ其時ニ法律ヲ改正
シテモツト之ヲ擴大シテ行クコトガ寧ロ宜
イノデハナイカ知ラント考ヘテ居リマス
○加藤政之助君 今預金部ノ方ノ問題ガ出
マシタカラ御尋ネシマスガ、預金部ノコト
ニ付キ預金部カラ年々三千圓ツ、出シテ之
ヲ目ノ子算ニスレバ三千万圓ツ、三十箇年
ニナッテ九億圓ニナル、尤モソレハ途中デ還
元シマセウカラ、サウハ要リマスマイガ、
兎モ角三千万圓ツ、ト云フ巨額ノ金ヲ預金
部カラ出ス、預金部ノ身代ハ全體ドウカト
云フト近頃經濟界ノ動搖ノ爲ニ地方ノ銀行
ガ信用ヲ失ツタカラ、從ッテ預金部ニ這入ル
金ガ多クナッテ二十億ニナッテ居ルケレドモ、
預金部ノ身代ハ僅ニ二十億、併シ此立前
ハドウナッテ居ルカト云フト、有利確實ノ
事業ニ向ケルコトニナッテ居ル、而シテ預金
部ハ全國ノ郵便貯金、零碎ノ資金ガ集マッテ
居ルノデア、何時取付ヲ喰ッテモ構ハナ
イヤウニ成ルベク短期ノ回收ノ出来ルヤ
ウナモノニ貸付ケルト云フコトガ安全デア
ル、然ルニ三千万圓ト云フガ如キ巨額ノ金
ヲ此預金部ノ僅カ二十億前後ノ身代カラ固
定セシムベク土地ニ貸スト云フコトハ私ハ
甚ダ當ヲ得テ居ラヌト思フノデスカ、此點

ニ付テハ大藏省ハ農林大臣ノ要求ニ向シテ何等故障ガナクソレダテ融通スル、斯ウ言ハレタノデアリマスガ、大藏省トシテハ斯ウ云フコトヲヤツテモ一向差支ナイト云フ觀念ヲ有シテ居ラシヤルノデスカ、其説明ヲ伺ヒタイ

○政府委員(大口喜八君) 此計畫ニ付キマシテハ、既ニ農林大臣ヨリ色々御答ヘシテ居ルト存ジマスカラ、私申上デルマデモナイト思ヒマスガ、農林省ニ於テノ計畫ガ此程度デアレバ宜シイ、斯ウ實ハ認メマシテ同意ヲ致シタノデアリマス、ソレカラ此預金部ノ金ノ運用上ニ付キマシテハ只今加藤君ヨリ御述ベノ通りノ預金部ノ身代デアリマス、只今郵便貯金モ御承知ノ通り割合ニ減リマセヌデ殖エツ、アリマスケレドモ、併シ是ハ御説ノヤウニ財界動亂ノ後ヲ承ケテ居ルコトデアリマスカラ、ドウ云フ風ニ變化シナイトモ限ラナイト云フコトモ考ヘネバナラヌノデアリマス、ソコデ色々考究イタシマシテ、先刻松岡男爵ヨリ御要求デアリマシタカラ表ヲ以テ差上ゲテ置キマシタガ、御手許ニ出シマシタ表ノヤウニ計畫ヲ立テタノデアリマス、預金部ノ負擔金額三千万圓ノ財源調ト申シマスモノデアリマス、即チ第一年ト第二年ノ三千万圓ハドウシテ之ヲ出スカト申シマス、加藤サンハ能ク御承知デアリマスルガ、養蠶ダトカ、

米作其他中小工業ナドニ對シマシテ應急資金トシテ立替テ居ル金ガアリマスカラ、其中三千万圓ハモウ明カニ償還ガアルモノト考ヘテ居リマスカラ、第一年、第二年ハ其償還金ヲ以テ此自作農ノ方ニ廻ハシタイト考ヘテ居リマス、第三年カラハ据置期間ノ此利子カラ這入シテ參リマスシ、ソレカラ年賦償還金モ這入シテ參リマスケレドモ、誠ニ僅カデアリマスカラシテ其金ヲ直グ廻ハシマシタノデハ資金ガ足りマセヌカラ、第三年カラ第十七年マデハ次第二此預金部ガ有シテ居リマス公債ヲ賣却イタシマシテ是ニ向ケル積リデアリマスガ、御承知ノ通り預金部ハ常ニ相當ノ公債ヲ持ッテ居リマスカラ、公債ヲ持ッテ居リマスノヲ此自作農ノ方ヘ一部分ヲ廻シタイト云フ考設計畫ヲ立テマシタ、即チ第三年カラ之ニ向ケマスケレドモ、是モ次第次第ニ減シテ參リマシテ、第十年頃マデ參リマスケレバ、アトハ大分減リマスノデアリマスガ、結局十七年マデハ此公債ノ賣却代金ヲ以テ補填ヲ致シテ參リタイト思ヒマス、其後ニナリマスケレバ、モウ大體ニ於キマシテ利子トソレカラ償還金ガ段々積ッテ來リマスケレバ、アトハモウ資金ヲ預金部カラ廻シマセヌデモ、三千万圓ダケハ利子ト前ノ償還金トデ斯ウ繰廻シテ行クコトト考ヘマス、是ガ餘程此預金部ノ方デ研究サセマシテ屢、此表ハ作シタノデアリ

マスガ、只今御手許ヘ出シマシタ此計畫デアリマスケレバ、萬誤リナキモノト信ジマシテ、固ク信ジマシテ此財源ニ付キマシテハ承知シタノデアリマス、サウシテ此預金部ノ方ハ私ガ申スマデモアリマセヌガ、運用委員會ノ議ニカカリマスカラシテ、運用委員會ニ於テ只今御述ベノ通り有利確實ナルモノト認メラレマセネバイケナイ譯デアリマスガ、幸ニ是ガ貴衆兩院ノ御同意ヲ得マシテ法律ニナッテ出マスレバ、無論國家ノ有利ナモノト認メラレルコトト私ハ確信シマス、更ニ是ガ府ノモノデアリマシテ：：政府ノ特別會計デアリマシテ、是ハ貸付ケルコトデアリマスカラシテ、確實ト申スコトハ確カニ確實デアルト考ヘマスノデ、預金部ノ委員諸公ニ於カレマシテモ必ズヤ御同意下サルコトト確信イタシマシテ、此計畫ヲ立テマシタ次第デアリマス

○加藤政之助君 今ノ預金部ノ委員ト云フ方カラ、私モ預金部ノ委員デアリマスガ、其方ハコ、デ言フベキコトデナイト思ヒマスカラ、預金部ノ委員會ガ開ケラタ時ニ私ハ申シマス、ケレドモ今大藏次官ノ説明ニ依ルト云フト此金ハ公債デ賣ッテ出ス、公債ノ如キモノハ是ハ預金部ガ零細ナ資金ヲ預ッテ居ルノデスカラ、成ルベクソレヲ保存シテ居ッテ急場ニ應ズル爲ニ餘計持ッテ居ルト云フコトガ一番安全デアルト思フノデアリマスケレドモ、大藏省ノ當局者ハソレヲ出シテモ差支ナイト云フ考ヲ持ッテ居レルノデアリマセウ、ガ併シ今マデ預金部カラ金ヲ貸出シタ内ニ赤ノ出タコトハ極メテ多イノデアリマス、或ハ元金償却ノ延期ヲ求メル、利子ヲ負ケテ吳レロト云フコトヲ申ス、現ニ國際汽船會社ノ如キモノアレマス、支那方面ニ貸シタ金ハ皆ソレデ過去ノモ心配スルガ、將來サウ云フコトガアッテハ一大事ダト斯ウ思フノデアリマスガ、大藏次官ハダ、此自作農ヲ作ル爲ニ是ダケノ巨額ノ融通ヲシテモダ、是ハ決シテ赤ノ出ル氣遣ヒハ無イト云フ御考ヲ持ッテ居ルノデアリマセウカ、此自作農法案ヲ見マスルト云フト、府縣ヲ經由シテ貸スト云フコトト、個人貸出シト此兩方アルノデアリマスガ、府縣ノ貸出シト云フコトニ至リマシテハ、是ハ立派ナ自治團體デアリマスカラ、僅カバカリノ金ヲ融通シテヤリマシタ所ガダ、ソレガ滯滞スルトカ、赤ガ出ルトカ云フヤウナコトハ無イダラウト思フ、併シ一步進メテ個人ノ貸出シヲスルト云フ話ニナリマスと云フト、是ハ今大藏次官ノ言ハレルヤウニ有利確實ナド、云フコトハ思ヒモ寄ラヌト私ハ思フノデアル、此點ニ付テモ尙且ツ大藏次官ハ有利確實デアル、斯ウ云フコトガ明言出來マスガ

○國務大臣(山本悌二郎君) 國が直接ニ貸

シタ場合ニハ非常ニ危険ナモノデアルヤウ
ナ御尋デゴザイマシタガ、是ハ別段違ハナ
イノデス、詰リ國貸ス場合デモ道府縣デ
貸ス場合デモ、矢張りソレトノ機關ヲ經
テ……同ジ機關ヲ經テデス、調査ヲサシテ、
サウシテ確實ナモノ、適當ナモノト斯ウ認
メタ場合ニ初メテ貸付ヲスルノデアッテ、故
ニ其道府縣ノ場合ト個人ノ場合トハ別段其
危険ノ程度ハ變ラナイノデス、唯加藤君ノ
心配サレルノハダ、アトカラシテ償還ガ滯
タ場合ニ府縣ナラバ間接ニナルノデアル、
此特別會計カラ見テデスナ、特別會計ガ府
縣ニ貸シテアル年賦金ノ滯ルモノガアレバ
其責任ハ取敢ヘズ道府縣ガ先ヅ持ツ譯ニナ
テ來ルノデアルカラ、直接ニ其責任ガ特別
會計ヘハ來ナイ、併シ特別會計ガ直接ニ貸
シテ居ル場合ニ滯ル危険ガ出來ル上云フト、
ソレハ直接ノ責任ニナル、斯ウ云フ點デア
ラウト思ヒマス、ソレハ其通りデアリマス
スケレドモ、能ク年賦金ガ滯ルト云フコト
ノ危険ガ特ニ、國家ガ直接ニヤッテ居ル場合
ニ於テ特ニ多イト云フコトハ無イ譯ニナ
テ居ルノデスカラシテ、從ッテ滯リ貸ノ危
険ト云フモノガ特ニ國ノ場合ニ於テ多イト
云フコトニハナラナイノデス、デスカラ其
御心配ハ先ヅ無イト見テ宜シイ
○政府委員(大口喜六君) 御答イタシタイ

私カラ……此公債ヲ賣出シマスコトデゴザ

イマスガ、公債ヲ賣リマシテ此自作農ノ方
ヘ廻シマスノハ、如何ニモ不確實ナルヤウ
ニ思召サレルカモ知レマセヌガ、私ノサウ
考ヘマセヌノハ、今此預金部デ持ッテ居リマ
ス國債證券ダケガ、能ク御承知デアリマス
通り五億七千万圓ニ近イノデアリマス、其
公債ヲ一等多年ニ賣出シマシテモ……賣
却イタシマシテモ二千三百萬圓ニ過ギヌノ
デアリマスカラ、只今五億七千万圓ニ近ク
持ッテ居リマス公債ノ内ニ二千三百萬圓ヲ賣
却シテ行クノデアリマスカラ、サウ其エラ
ク是ガ預金部ノ根柢ニマデ響クトハ考ヘマ
セヌノデ、實ヲ申シマス此公債ヲ賣却イ
タシマセヌデモ、此位ナ資金ハ毎年出シ得
ルト私共考ヘテ居リマススケレドモガ、餘程
是ハ確實ニシテ置ク必要ガアルト考ヘマシ
テ、公債ヲ十七年マデハ賣却ヲ致シテ、ソレ
デ補填ヲスル方法デ立テマシタノデアリマ
ス、萬々ガ一ノ場合ニ此方法ヲ持ッテ行ッ
テ確實デアルト斯ウ考ヘテ居リマス、ソレカ
ラ只今ノ御尋ノ確實ナリヤ否ヤト云フコト
ハ、農林大臣ヨリ御答デアリマスカラ、私
ガ補足等ヲ致ス必要ハ無イカモ知レマセヌ
ガ、矢張り私ノ方ノ大藏省ノ方デ見テ居リ
マスノモデス、成程地方自治體ニ貸付ケマ
スレバ誠ニ確實ナヤウニ見エマス、私共モ常
ニ其論者デアリマス、然ルニ加藤君ハ御承

知デアラセラレマス通り、却ッテ此自治體ノ

内デ……多數ノ者デアリマスカラシテ、個
人ガ責メラレルヤウニ感ジマセヌモノト見
エマシテ、不成績ナモノモ過去ニハアルノ
デアリマス、然ラバソレニ依リマシテ、自
治體ヲ信用シマセヌカト申シマスニ、決シ
テサウデハアリマセヌ、私共ハ將來自治ノ
發展ヲ何處マデモ圖リマシテ、益、自治體ガ
鞏固ノモノニナッテ、モウ萬全ナ信用ヲ得ラ
レルヤウニナラネバナラヌト考ヘマスガ、
今日ノ所自治體デアルガ故ニ、特別ニ
良イト申上ゲルコトノ出來ナイ事情モ
アリマスノデアリマス、然ラバ個人ハ
確實カ危イカト申シマス、コ、ハ大藏省
當局ガ多少、苦心ヲ致シマシタ所デアリマ
シテ、大體ハ是ハ自治體ニ貸付ケルコトニ
シテ貫ヒタイト思フノデアリマス、今申ス
通り自治體ノ内ニモ必シモ、確實ト參ラヌモ
ノガアリマススケレドモガ、先ヅ我國デハ自
治ノ發展ヲ圖リ、是ガ鞏固ナモノトナラナ
ケレバナリマセヌカラ、私共モ何處迄モ先
ヅ自治團體、成ルベク自治體ヘ貸シテ貫ヒ
タイノデアリマススケレドモガ、若シ個人デ
ナクテハナラヌ場合ガアリマスレバ、此事
業ヲ遂行イタシマスルニハ、個人ニ直接貸
シマスコトモ差支ナイト考ヘマス、何故サ
ウ考ヘマスカト申シマスカト云フト、先ヅ
第一ニ只今行ッテ居リマス簡易生命保險ノ

方ヲ調査シテ見マス、御承知ノ通り個人

ニ直接貸付ケテ居リマスガ、割合ニ……割
合ニデハナイ、殆ド俗ニ申ス蟲食ヒハナイ
ノデアリマス、誠ニ都合好ク參ッテ居ル、ド
ウ云フ譯デアアルカト段々考ヘマス、是ガ
無理ニ、斯ウ云フモノヲ設定イタシマセヌ
デ、餘程向フガ希望イタシテ參リマス者ノ
中デ調査イタシマシテ、確實ト信ズルモノ
ニ對シテ致シテ居リマスカラシテ、割合ニ
是ハ能ク成績ガ參ッテ居リマシテ、只今ノ所
ハ蟲食ヒナシカト云フモノハ出ナイ、ソレ
デアリマスカラ、是カラ行ヒマスル自作農
ノ創定ニ付キマシテモ、調査ヲ十分イタシ
テ貫ヒマシテ、當局ニ於キマシテ眞ニマア
無理ヲ致サナイヤウニ致シテ、ソレデアリ
マスカラ是ハ八千万圓、一億萬圓ト致シマ
スコトガ、或ハ一方カラ言ヘバ宜シイカモ
知レマセヌガ、先ヅ只今農林大臣ヨリモ申
サレマスル通り、此三千万圓ノ程度ニ於キマ
シテ極メテ確實ナモノヲ選ビマシテ、之ヲ
實行シテ貫ヒタイト考ヘマス、是デ參リマ
スレバ今日マデノ簡易生命ノ事情カラ考ヘ
マシテモ、先ヅ危イコトハナイト私共信ジ
マシテ、之ニ同意ヲ致シタ次第デアリマス
○男爵松岡均平君 加藤委員ニ御相談デゴ
ザイマスガ、今ノコトニ關聯シテチヨット伺
ヒタイデスガ……
○加藤政之助君 アナタ、御質問デゴザイ

マスク

○男爵松岡均平君 チョット今ノニ關聯シ

テ……

○加藤政之助君 宜シウゴザイマス、ドウ

ゾ……

○男爵松岡均平君 今大藏省ノ政務次官ノ

御説明デアリマシタガ、預金部ノコトニ付

テ、加藤君サンハ預金部ノ委員デ居ラレル

カラソコデ質問ハ此際ハ申述べヌ、此處デ

申サスト云フコトデアリマシタガ、私ハ委

員デゴザイマセヌカラ此席デーツ伺ヒタイ

ト思ヒマス、マダ此處ニ材料ヲ戴イタダケ

デ、ハッキリ分リマセヌカラ、一二ノ事實ヲ

伺ツタ後ニ更ニ申述べタイト思ヒマスガ、此

第一年第二年ニ於テ三千万圓ヲ養蠶、米作、

商工等ノ應急資金ヲ充テルト云フヤウナ譯

デアリマス、是等ノ三千万圓ナリ宛充テマ

スト、即チ養蠶ト米作、商工ト云フ方ノ方

面ニ向テハ、モウ其方ニ廻ス必要ガナイト

云フ御見込デアリマスガ、或ハ別ニ其財源

ガ御都合ガ付イテ居ルノデアリマスガ、ソ

レヲ伺ヒタイ

○政府委員(大口喜六君) 御尤ナ御尋デア

リマス、是ハ一時ノ急ヲ救フ爲ニ何レモ貸

シタモノデアリマスカラシテ、尤モ今度還

テ参リマスレバ又後日何カ特殊ノ事ガ起リ

マシテ貸出ス必要ガ新ニ生ズルカハ分リマ

償還イタシマスレバ續イテ貸シマスル必要

ハナイコトニナッテ居ルノデアリマス

○男爵松岡均平君 能ク了解イタシマシタ

ガ、尙ホ一點伺ヒタイト思ヒマスノハ、償

還金ヲ折返シテ貸付ケル、斯ウ云フ話デア

リマスガ、折返シテ貸付ケルト云フコト

ハ、預金部ノ方カラ見マス、償還ヲ受ケ

ナイト同ジコトニナル譯ダト思ヒマスガ、

詰リ公債賣却金ヲ以テスル部分ハ、ソレダ

ケ年々預金部カラノ貸付金額ガソレダケ殖

エル、サウ云フコトニナルノデゴザイマ

スナ、詰リ十七年ノ終リニ於キマシテ此數字

ヲ見マスルト、二億七千万圓幾ラ殖エル

ト云フコトニナッテ居リマスルガ、是ハ謂ハ

バ二億七千万幾ラト云フ金ヲ土地ニ固定ス

ル、斯ウ云フ關係ニナッテ居テ、預金部ノ

方カラ申シマスルト、丁度不動産銀行ノ業

務ヲヤッテ居ルト云フヤウナ形ニナッテ居ル

ノデアリマス、是ハ今加藤サンカラモ御話

ガアリマシタガ、サウ云フ風ニイツ何時返

濟ヲ要求サレルカ分ラヌ郵便貯金ノ金ヲ以

テ、不動産銀行ノヤウナ業務ヲヤッテ居ルト

云フコトハ、預金部ノ仕事トシテハ多少ノ

疑義ガアルコトト思ヒマスケレドモ、是ハ

意見ニ互ルコトデアリマスカラ其點ハ深ク

申上ゲマセヌガ、併シ詰リ預金部ノ資金運

用ノ形式ノ方カラ見マスルト、大體今マデ

云フ、チョット其數字ガ私ノ戴キマシタ是

ト、御説明ノソレト違フヤウデアリマス

ガ、ドチラガ正シイノデアリマスガ、コチ

ラニハ五億四千三百五十万圓トナッテ居リ

マシテ、只今伺ヒマシタノハ五億七千万ト仰

シヤルガ、ドチラガ正シイノデアリマスガ

○政府委員(大口喜六君) ソレハ御手許ヘ

出シマシタノハ昭和二年ノ十二月末現在デ

ゴザイマスガ、私ガ今申シマシタノハ極ク

最近ノモノデアリマシテ、二月末日ノ現在

ヲ申上ゲタノデアリマス、實ハ十二月末日

ノ現在デ申上ゲマセバ表ニ一致シタノデ

アリマスガ、此二箇月ノ間ニ公債ガ約二

千六万圓バカリ殖エテ居リマスノデ、サウ

云フ譯デアリマスカラ、ソコニ差ヲ生ジタ

ノデアリマス、ソレカラ只今ノ御趣意ハ先

刻申シマシタ通り、公債ヲ大分持ッテ居ルノ

デアリマスカラ、今ノ程度ナラバ決シテ運

用上危イコトハナイト思ッテ居ルノデアリ

マス

○男爵松岡均平君 私ハ今數字ニ付テ疑ヲ

生ジタノデ御尋ヲシタノデ、マダ質問ハ申

上ゲナイノデアリマスガ、即チサウ云フ風

ニ預金部ノ金ト云フモノガ有價證券、國庫

證券ニナッテ居ルノデスガ、ソレヲ賣ッテ行

クト云フコトデアリマスルト、現在ノ國庫

證券ト云フモノガソレダケノ部分ハ長期年

ノ形ニ變ッテ行クノデアリマス、サウスルト

公債ヲ賣ル方カラ申シマス、預金部ハ將

來十數年ニ互ッテ二億七千万圓ノ公債ヲ賣

却スル計畫ヲ豫メ今日カラ御發表ニナッ

ト云フコト同ジナンデスナ、サウ云フコ

トニナルノデアリマスガ、公債ヲ御出シニ

ナルト云フコトヲ公ニサレルト云フコトニ

相成ルノデスガ、サウスルト之ヲコチラデ

ハ賣ル積リデアリマスガ、買ヒマス相手先

ハ誰ガ之ヲ買フノデアリマスガ、其點ヲ伺

テカラ其後ヲ申上ゲタイト思ヒマス

○政府委員(大口喜六君) 只今ノ狀態デハ

私共ノ確ニ押ヘテ居ル所ガアリマスガ、之

ヲ今想像ヲ以テ餘リ露骨ニ御答スルコトハ

頗ル私共苦シムノデアリマスガ、今日迄預

金部デ扱ッテ居リマス狀況カラ言ヒマスレ

バ、昨年モ六七千万圓ノ公債ヲ賣ッテ居リ

マスルシ、本年モ相當ニ賣ル考ヘデアリマ

スガ、相當ニ此大キイ銀行等ナドニモ持ッ

貴ヒマス事情モアリマスルシ、二千万圓内

外ノ公債ヲ毎年賣拂ッテ居ルコトハ、ソレホ

ド困難トハ、實ハ考ヘテ居ナイノデアリマ

ス、是ダケヲ御答ヲ致シタイト思ヒマス

○男爵松岡均平君 サウ致シマス、詰リ、

日銀ヲ經由シテ市場ニ賣出サレルト云フコ

トモアリ得ルノデスガ、多クノ場合ハサウ

テスガ、或ハ特別ノ會計ニ引受ケテ貴フノ

デアリマスガ

○政府委員(大口喜六君) 買フモノハ日銀

ノ手ヲ經テ居ル場合ガ多イノデアリマシテ、特殊ノ銀行ニ買フテ貰ヒマシテ、市場ニ賣出シマセヌデ、片ハ付イテ居ルノデアリマス

○男爵松岡均平君 サウ致シマスと全ク公債ヲ發行スルト何等選ブ所ハナイノデアリマスナ、全ク新シイ公債ヲソレダケ御出シ

ニナルト同ジコトニナルト思ヒマス、サウ致シマスと現在ニ於テモ頻リニヤカマシク言フテ居リマス公債ヲ制限スルト云フ現在

ノ政策、單リ貴族院バカリデナク、日本トシテモサウデアラウト思ヒマスガ、公債政策並ニ此重要ナル問題デアル金解禁ノ問題

トハ、全ク逆行シタヤウナ形ヲ呈シテ居ルノデヤナイカト云フコトヲ憂フルノデアリマス、併シ是レ以上ハ意見ノ相違ニナリマ

スカラ申上ゲマセヌ、又何レ明日デモ此點ヲ研究シテ伺ヒタイト思ヒマス

○政府委員(大口喜六君) チョット補足イ

タシタイノデアリマスガ、私只今銀行ノミニ賣リマスヤウニ申上ゲマシタガ、ナヨット私心付カヌデ居タノデアリマスガ、毎

年……昨年モ一昨年モ工合好ク參テ居リマシタカラ、自分ノ記憶ノ點ダケヲ申上ゲ

タノデアリマスガ、尙ホ斯ウ云フ事情ガアリマスカラ申上ゲテ置キタイト思フノデア

リマスルガ、各省ノ特別會計ナドニ積金ノヤウナモノヲ致シマスモノガアリマス、例

ヘバ簡易生命保險ニ致シマシテモ、郵便年金、ソレカラ鐵道ノ方ノ共濟組合ナドニ致

シマシテモ、サウ云フモノハ公債ヲ毎年引受ケマスノデアリマス、サウ云フ所ニモ矢

張り公債ヲ毎年預金部カラ引受ケテ貰ヒマスノデアリマス、其賣却代ヲ此昭和元年度、

二年度、三年度ト云フヤウニ計算ヲ致シテ見マシテモ、少イ年デアリマシテモ、一千

數百方圓ノ引受ケヲシテ貰ヒマスルシ、多イ年ハ二千五六百方圓ノ引受ケヲシテ貰

テ居ルヤウナ譯デアリマスカラ、斯ウ云フ所ニ引受ケテ貰ヒマシテモ、其位ノコトハ

自由ニ參ルト考ヘテ居リマスガ、簡易生命保險ノ如キハ御承知ノ通り地方ノ債券ヲ引

受ケモ貰ヒタイト云フノデ頻リニ希望ガアリマスノデ、先日モ簡易生命保險ノ委員會

ニ於キマシテ、地方債ヲ引受ケマス相談モアッタノデアリマスガ成ルベク國債ヲ引受

ケルヤウニト云フコトニモナッテ居リマシテ、多クハ國債ヲ引受ケテ呉レルノデアリ

マスガ、相當ノ高ヲ引受ケラレマスノデ、是等ダケニ對シマシテモ、只今申述ベマシ

タ位ノ公債ヲ毎年引受ケテ貰ヒマスコトハ餘リムツカシクナイコトト考ヘテ居リマス、

是ハ一般ノ財界ニモ餘リ影響ヲ及ボサナイコトデアルト考ヘテ居リマス

易生命保險デアリマシタカ、昭和三年度ハ確カ餘力ガナイヤウニ私ハ承知イタシテ居

リマスガ、果シテ昭和三年度ニ於テモソレダケノ餘力ガアリマスカ

○政府委員(大口喜六君) 矢張り三年度モ三千万圓許リアルト云フコトデゴザイマ

ス、二年度モハッキリ分ッテ居リマスシ、元年度モ分ッテ居リマス、三年度ニ於キマシ

テモ、ソレガ全部國債ニ應ゼラレマスカドウカハ不明デアリマスガ、總テサウ云フモ

ノヲ引受ケマス餘力ガ約三千万圓位デアルト申シテ居リマス

○男爵松岡均平君 私ノ質問ハ終リマシタ

○委員長(子爵渡邊千冬君) チョット關聯シタコトデスガ、第二年目ノ据置期間ノ利

子ト云フモノガアリマスガ、第一年ハ据置デアルカラ年賦償還金ハナイデセウガ、利

子ハ矢張り……

○政府委員(大口喜六君) 御尤ナ御尋デ私

モナヨット今分ラナカタノデスガ、利子ハ無論入ルノデアリマスケレドモ、ソレハ茲ニ使フ必要ガアリマセヌカラ、此表ニ加ヘ

○委員長(子爵渡邊千冬君) アリマス

○侯爵大隈信常君 マダ澤山デスカ

○委員長(子爵渡邊千冬君) マダ湯地君、ソレカラ松岡男爵、ソレカラ自作農ニ付キ

マシテハ、委員外ノ稻田小畑兩男爵、ソレカラ近藤男爵カラ先達テノ質問ノ續キヲ

致シタイト云フコトデアリマス

○侯爵大隈信常君 今日マデ數日色ノ質問應答ガアリマシテ、私モ大分質問ヲシタ

イト思ヒマシタケレドモ、何分ニモ此會期ガ切迫シテ餘ス所最早一日ニナッテ居ルノ

デアリマスカラ、之ヲ徹底的ニ質問ヲシマスルト云フコトニナリマスルト、容易ニ盡

キナイコトト考ヘマス、無論貴族院議員トシテ慎重議、十分質問ヲシテ應答スルコ

トハ相當ノコトト考ヘテ居リマス、決シテ衆議院ノ如ク、質問ヲ打切ル、壓迫スルト

云フヤウナコトハ、決シテ當ヲ得タモノデナイト云フコトハ、萬々承知シテ居リマス

ケレドモ、斯ノ如ク時期切迫シタ場合ニ於キマシテ、更ニ質問應答ヲ重ネマシテモド

ウデゴザイマセウカ、甚ダ申シクイ譯デアリマスルガ、我々常識ヲ以テ今日マデ色

色御質問應答ヲ拜聽シマシテ、先ヅ我々ノ意思ノアル所ハ是デ分ッタヤウニ私ハ考ヘ

マスノデ、此場合ニ私ハ一ツ懇談の、打切ルト云フコトハ甚ダ失禮デアリマスケレ

ドモ、サウ云フ場合デアリマスカラ如何デ

スカ、最早打切りマシテ、議決スベキモノハ議決シ、一例ヲ申上ゲマスレバ、此米穀法ノ如キモノハ既ニ衆議院ニ於テモ、全會一致ヲ以テ是ハ可決サレテ居ルモノデアリマスカラ、貴族院トシテモ、無論是ハ可決スベキモノデハナイカト私ハ信ジテ居リマスノデ、サウ云フ意味ヲ以テ、茲ニ討議ニ入ルコトノ私ハ動議ヲ提出シタイト思フノデアリマス

○加藤政之助君 大隈侯ニ御伺ヒ致シマスカ、質問打切りノ御提議デスカ

○侯爵大隈信常君 先ツ甚ダ何デスカ……打切りト申シマスカ、モウ此位ノ所デ質問ヲ打切ッテモ宜イデヤナイノデスカ、同時ニ討論ヲシテハドウカト云フノデアリマス

○加藤政之助君 折角ノ大隈侯爵ノ御提議デアリマスルガ、私ハ若シ其御提議ガ質問打切りデアルトスレバ、直チニ賛成出來ナイ、何故ナレバ此案ハ漸ク一兩日前ニ持テ來ラレタ案デ、是ハ此質問ヲスルノニハ、非常ナ努力デ書類ヲ見ヤット質問ヲ始メルト云フ譯デ、私今マデ質問シタノデスカ、マダ要領ヲ盡サヌノデアリマス、而シテマダ明日モアルノデ、今日俄カニ此處デ質問ヲ打切ッテ、サウシテ不了解ノ間ニ決議スルト云フコトハ、私ハ貴族院議員トシテ甚ダ不穩當デアルト考ヘマス、若シ衆議院ノ如ク長イ間此案ヲ握ッテ居ッテ、サウシテ徒

ラニ討論ヲ長引カセルト云フヤウナ計畫デモアリマスレバ、ソレハ今ノヤウナ御心配モ當然デアリマスケレドモ、私ハ此場合トシテハ大隈侯爵ノ御提議ニ御同意出來マセヌ

○侯爵大隈信常君 私ハ質問打切りト云フ意味デモナイノデアリマシテ、質問ヲ續ケテモ宜イノデアリマセウガ、同時ニ矢張り討議ニ入りマシテ議論ヲ關ハシテ見タイ、可トスルモノハ可トシ、否トスルモノハ否トシテ行カヌト、アト一日シカナイノデアリマスカラ、本會議ニ廻ハス時間モアラウカラシテ、只貴族院議員トシテ審議未了ト云フモノハドウデアラウカト云フコトヲ考ヘマスカラ一言申シタノデアリマス

○山田惠一君 私ハ大隈侯ノ提議ニ賛成イタシマス

○室田義文君 大隈侯ニ賛成イタシマス

○板谷宮吉君 賛成シマス

○子爵大河内正敏君 大隈侯爵ノ動議ハ打切りデナイト云フ御説明デアリマスルガ、是ハ事實ニ於テ打切りデアリマス、貴族院ニ於テ質問打切りト云フ先例ヲ開クコトハ是ハ重大デアルト思ヒマス、私ノ承知シテ居ル場合ニ於テハ質問打切りハ一度アッタノデアリマス、是ハ私ハ自分ガヤッタノデアリマス、豫算總會ニ於テ時ノ總理大臣ノ高橋是清君ニ對シテ、若槻禮次郎君其他ノ方

方ガ質問サレタノデアリマス、澤山ノ質問ヲ繰返シサレマシテ、結局ドウ云フコトニナツカト云フト、時ノ總理大臣ハモウ是レ以上ハ此問題ニ付テハ答辯ヲシナイト言ハレマシタ、答辯ハモウ是レ以上、今迄十分ニ答辯ヲシテシマッテ、答辯ハモウスルコトガナイカラドンナニ質問ガアッテモ是レ以上答辯ハシナイト言ハレタ、ソレダカラ私ハ其答辯ヲシナイト云フ總理大臣ヲ擱ヘテ、是レ以上質問シテモ仕方ガナイデヤナイカ、此質問ハ是デ打切ッテ置イテ他ノ質問ニ移ラウト云フコトデ、私ハ動議ヲ出シタノデアリマス、私ノ知ル範圍内ニ於テ是レ以外ニ質問打切りノ動議ハ出タコトハナイト思ヒマス、而モソレハ全體ノ質問ヲ打切ッタノデハナイ、唯其問題ダケノ質問ヲ打切ッタノデアリマス、今日ノ大隈侯爵ノ御議論ハ此委員會ノ質問ヲ打切ッテシマフト云フコトデ、是ハ怪シカラヌコトト思フノデアリマス、私ハ之ニハ斷然反對シマス

○男爵松岡均平君 是ハ一人ノ反對ガアルト成立タヌコトト思ッテ居リマス、慣例トシテハ……、今日ソレヲドウ斯ウ仰シヤルト時間モナイコトデアリマスルカラ、又明日御相談ニナッテハドウカト思ヒマス

○委員長(子爵渡邊千冬君) ソレハ懇談會ニ移ッテ……ソレデハ本日ハ之ヲ以テ散會イタシマス

午後四時十二分散會
出席者左ノ如シ

委員長 子爵渡邊 千冬君
副委員長 男爵東郷 安君
委員

侯爵大隈 信常君
子爵松平 直平君
子爵大河内正敏君
男爵松岡 均平君
男爵近藤 滋彌君
石井省一郎君
志村源太郎君
室田 義文君
湯地 幸平君
加藤政之助君
板谷 宮吉君
根津嘉一郎君
山田 惠一君

國務大臣

農林大臣 山本悌二郎君

政府委員

大藏政務次官 大口 喜六君
農林政務次官 東 武君
農林省農務局長 松村眞一郎君
農林書記官 井野 碩哉君
商工省工務局長 吉野 信次君